

# 第1章 南伊豆・西伊豆地域を取り巻く現状

## 1-1 地域の概況

### 1 地形、道路網、港湾施設

#### (1) 地形、道路網

当地域は、天城山系を中心に森林が地域の大半を占め、山地が海岸まで迫り平地が少ないことから、中小河川沿いや入江周辺に集落が形成されている。また、周囲を海に囲まれ、断崖や入江が多く複雑な形状をなしており、開国の港としての歴史をもつ下田港をはじめとした港湾や数多くの漁港等に利用されている。

道路網については、半島中央部の伊豆縦貫自動車道を骨格とし、接続する国道414号、東沿岸部の国道135号、西沿岸部の国道136号を県道が補完している。地形から、路線バスが利用可能な幅員の道路は限られており、その大半がバス路線として利用されている。

そうした中、半島を貫く幹線軸となる伊豆縦貫自動車道（天城北道路）の整備が進み、平成30年度には開通する予定であるなど、中伊豆地域、西伊豆地域への交通アクセスが大きく向上する見込みとなっている。

参考：

5.5m以上の道路復員が確保されていれば  
小型バスが相互通行可能

小型バス幅員 2.06m×2+離隔 1.0m<5.5m  
(車両制限令)

(出典：デジタルロードマップ)  
(事業箇所の出典：ふじのくにの“みちづくり”リーフレット《伊豆半島地域》静岡県交通基盤部道路局)

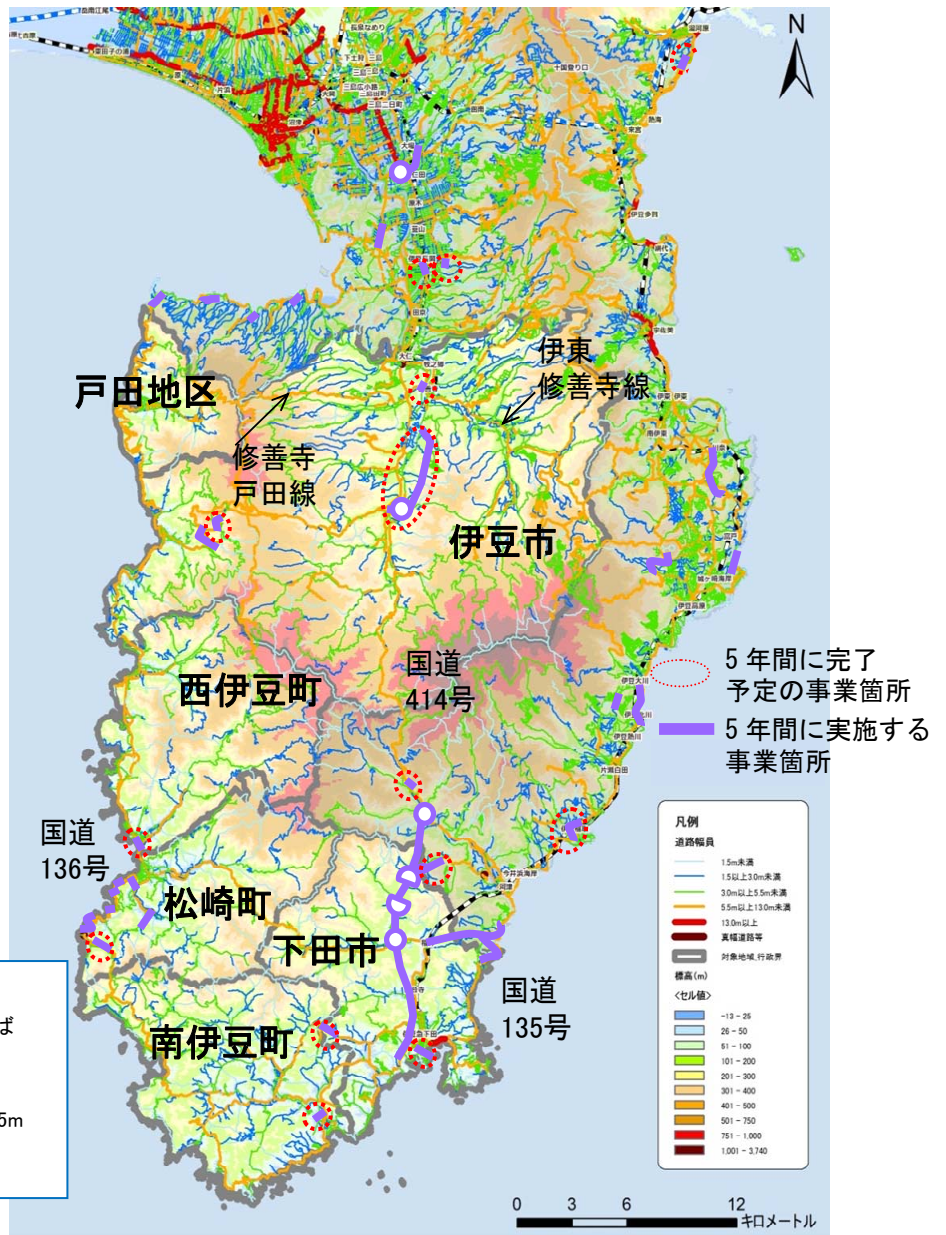


図4 南伊豆・西伊豆地域の地形と道路網（現在と将来）

## (2) 港湾漁港施設

当地域の沿岸部には下図に示す港湾・漁港が立地しており、港を中心に町が形成されている。伊豆市の土肥港には、現在、駿河湾フェリーが運航している。駿河湾フェリーと同等の船舶が接岸する場合は、船長及び余裕長を考慮すると、岸壁延長 100m 以上、岸壁水深 4.5m 以上、車両の積み下ろしを行う施設を有していることが必要であり、現在接岸可能な港は、土肥港の他には、下田港、松崎港、田子漁港と考えられる。

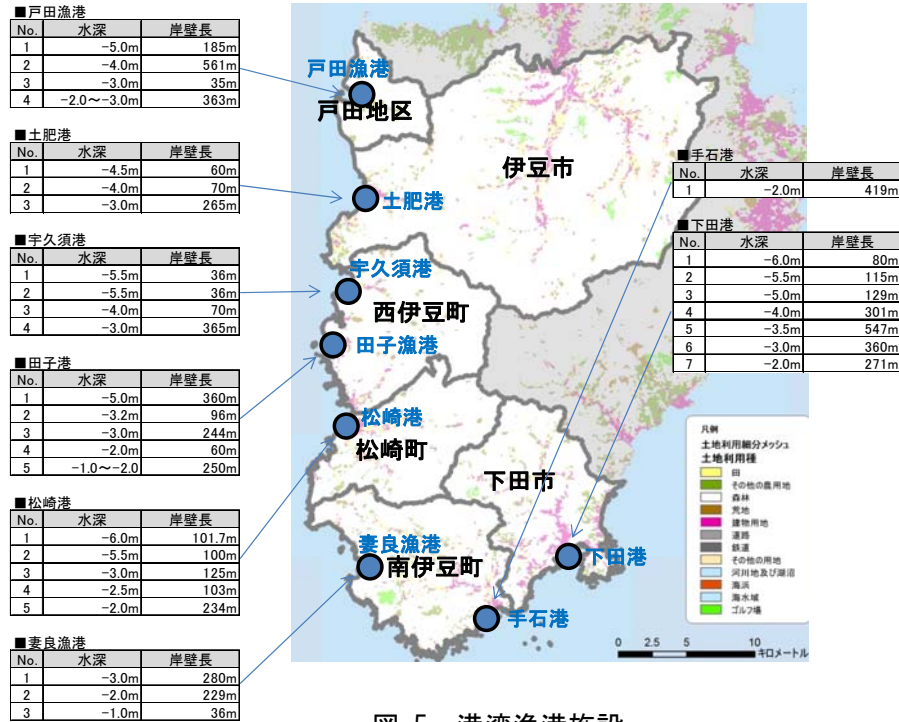


図 5 港湾漁港施設

## 2 土地利用

### (1) 土地利用

当地域は、山地が海岸まで迫る地形から、土地利用は大半が森林である。

修善寺駅周辺、伊豆急下田駅周辺など市町の中心部、国道等の幹線道路沿い、中小河川沿いや入江周辺に集落が形成されており、建物用地が分布している。

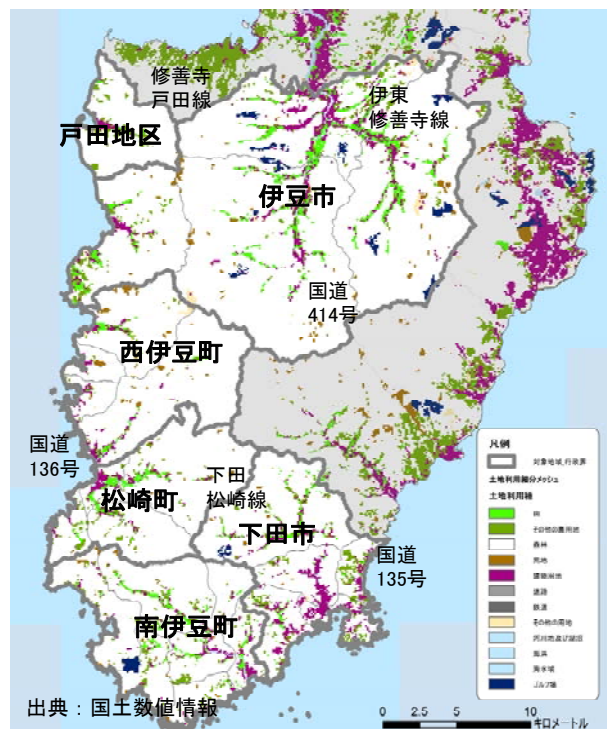


図 6 土地利用

(出典：国土数値情報 平成 23 年度作成)

### 3 人口の構成及び分布

#### (1)人口推移

平成26年度において、対象地区市町の人口は計8.3万人、世帯数は計3.4万世帯となっている。過年度からの推移をみると、県内は平成22年より減少傾向となっていることに比べ、当地域は長期にわたり減少傾向にあることが特徴である。世帯あたりの人口は2.4人/世帯まで減少しており、県全体に比べても少ないことが分かる。

高齢化率についても県全体が27.1%であることに比べ、当地域は39.2%と10ポイント以上も高く、高齢化が進んでいる地域であることが分かる。このように、当地域は、県内でも人口減少・少子高齢化が進んでいる地域であることを踏まえて公共交通網を検討する必要がある。

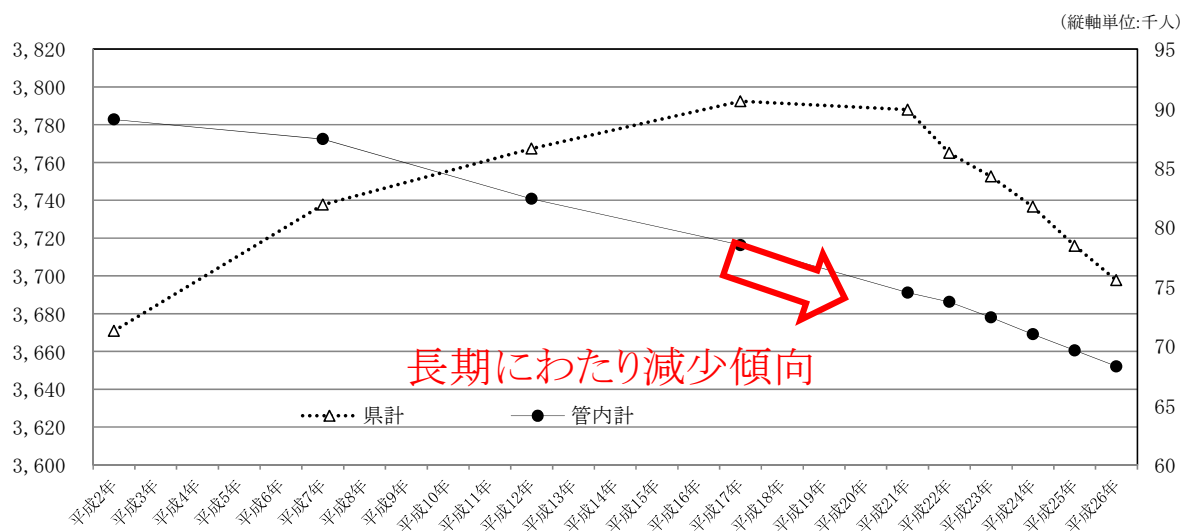


図7 人口の推移（管内計・県計比較）

表4 人口、世帯数の推移（管内計・県計・市町比較）

市町名	上段：人口（人）											対比（人口）		世帯当たり人口	
	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	26/2	26/25	H2年	H2年	
県計	3,670,840	3,737,689	3,767,393	3,792,377	3,787,982	3,765,007	3,752,592	3,736,600	3,715,901	3,697,651	100.7%	99.5%	3.1人/世帯	3.3人/世帯	
管内計	106,723	104,307	100,467	95,318	90,783	89,178	87,756	86,074	84,359	82,824	77.4%	97.9%	2.6人/世帯	2.8人/世帯	
沼津市戸田	4,481	4,229	4,001	3,655	3,658	3,323	3,464	3,373	3,264	3,135	70.0%	96.0%	2.4人/世帯	2.6人/世帯	
下田市	30,081	29,103	27,798	26,557	25,142	25,013	24,649	24,231	23,864	23,390	77.8%	98.0%	2.6人/世帯	2.8人/世帯	
伊豆市	38,999	39,426	38,581	36,627	35,115	34,202	33,576	33,008	32,421	31,817	81.6%	98.1%	2.4人/世帯	2.6人/世帯	
南伊豆町	11,200	10,725	10,304	10,003	9,602	9,516	9,359	9,157	8,963	8,833	78.9%	98.5%	2.4人/世帯	2.6人/世帯	
松崎町	9,266	8,841	8,515	8,104	7,654	7,653	7,484	7,284	7,070	6,935	74.8%	98.1%	2.4人/世帯	2.6人/世帯	
西伊豆町	12,696	11,983	11,268	10,372	9,612	9,469	9,224	9,021	8,777	8,514	67.1%	97.0%	2.4人/世帯	2.6人/世帯	
	4,222	4,328	4,383	4,204	4,168	4,030	3,964	3,908	3,811	3,745	88.7%	98.3%	2.4人/世帯	2.6人/世帯	

出典 平成2、7、12、17、22年は国勢調査、その他は推計人口（各年10月1日現在）  
沼津市は住民基本台帳（各年9月末現在）

表5 年齢3区分人口（管内計・県計・市町比較）

（単位：人）

市町名	年少人口（0-14歳）		生産年齢人口（15-64歳）		老年人口（65歳以上）		年齢不詳
	人口	総人口に占める割合	人口	総人口に占める割合	人口	総人口に占める割合	
県計	487,618	13.3%	2,193,842	59.7%	994,484	27.1%	21,707
<b>管内計</b>	<b>7,936</b>	<b>9.6%</b>	<b>42,230</b>	<b>51.2%</b>	<b>32,366</b>	<b>39.2%</b>	<b>82</b>
沼津市戸田	205	6.5%	1,546	49.3%	1,384	44.1%	0
下田市	2,326	10.0%	12,159	52.1%	8,853	37.9%	52
伊豆市	3,132	9.9%	17,090	53.8%	11,570	36.4%	25
南伊豆町	895	10.1%	4,172	47.3%	3,761	42.6%	5
松崎町	665	9.6%	3,348	48.3%	2,913	42.1%	9
西伊豆町	713	8.4%	3,915	46.0%	3,885	45.6%	1

高齢化率が  
県全体に比べ高い

平成26年10月1日現在（推計値）、沼津市は住民基本台帳（9月末現在）

表6 高齢者数・高齢化率の推移（管内計・県計・市町比較）

上段：高齢者（老年）人口（人）  
下段：高齢化率

市町名	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	対前年度増減数
県計	818,125	841,902	866,974	887,575	894,757	911,965	947,122	<b>981,071</b>	33,949
	21.1%	21.7%	22.4%	23.0%	23.3%	23.8%	24.9%	<b>25.9%</b>	1.0%
<b>管内計</b>	<b>29,718</b>	<b>30,067</b>	<b>30,434</b>	<b>30,659</b>	<b>30,506</b>	<b>30,721</b>	<b>31,548</b>	<b>32,135</b>	<b>587</b>
	<b>30.9%</b>	<b>31.7%</b>	<b>33.5%</b>	<b>34.4%</b>	<b>34.8%</b>	<b>35.7%</b>	<b>37.4%</b>	<b>38.9%</b>	<b>1.5%</b>
沼津市戸田	1,264	1,294	1,299	1,325	1,322	1,329	1,348	<b>1,382</b>	<b>34</b>
	33.3%	34.4%	35.1%	36.6%	37.5%	39.0%	41.1%	<b>43.3%</b>	<b>2.2%</b>
下田市	7,816	7,922	8,095	8,206	8,219	8,305	8,550	<b>8,731</b>	181
	29.6%	30.5%	31.4%	32.3%	32.8%	33.6%	35.3%	<b>36.6%</b>	1.3%
伊豆市	10,427	10,562	10,704	10,798	10,748	10,883	11,197	<b>11,440</b>	243
	28.1%	28.9%	29.6%	30.4%	30.7%	31.6%	33.1%	<b>34.3%</b>	1.2%
南伊豆町	3,455	3,472	3,487	3,470	3,429	3,440	3,584	<b>3,639</b>	55
	34.6%	35.2%	35.7%	36.0%	36.1%	36.9%	39.2%	<b>40.5%</b>	1.3%
松崎町	2,848	2,878	2,893	2,916	2,897	2,901	2,924	<b>2,962</b>	38
	34.0%	34.8%	35.4%	36.1%	36.5%	37.5%	38.8%	<b>40.1%</b>	1.3%
西伊豆町	3,908	3,939	3,956	3,944	3,891	3,863	3,945	<b>3,981</b>	36
	36.9%	37.9%	38.8%	39.4%	39.8%	40.4%	42.4%	<b>43.9%</b>	1.5%

各年4月1日現在

【参考】平成28年2月12日公表された平成27年国勢調査の速報値によると、エリア全体の人口（ただし、沼津市は市全体の人口）は平成22年に比べ5.1%の減少である。

国勢調査速報（H28.2.12）

市町名	H22	H27	増減率
沼津市	202,304	195,642	-3.29%
下田市	25,013	22,926	-8.34%
伊豆市	34,202	31,335	-8.38%
南伊豆町	9,516	8,511	-10.56%
松崎町	7,653	6,837	-10.66%
西伊豆町	9,469	8,234	-13.04%
計	288,157	273,485	-5.09%

## (2) 人口分布

修善寺駅周辺、伊豆急下田駅周辺など市町の中心部、国道等の幹線道路沿い、中小河川沿いや入江周辺に主に分布している。

当地域は、地形等の制約から、まちがコンパクトに形成されているが、学校の統廃合が進み、高次医療機関の立地も限られていることなどから、地域間をバス等の公共交通で接続する必要がある。

市町名	人口が分布する地区
沼津市戸田	県道修善寺戸田線沿線等
伊豆市	修善寺駅周辺、土肥港周辺、県道伊東修善寺線沿線、国道136号沿線等
西伊豆町	国道136号沿線、役場周辺 等
松崎町	県道下田松崎線沿線、県道南伊豆松崎線沿線 等
南伊豆町	役場周辺、国道136号沿線 等
下田市	伊豆急下田駅、市役所周辺、国道135号、136号、414号沿線 等

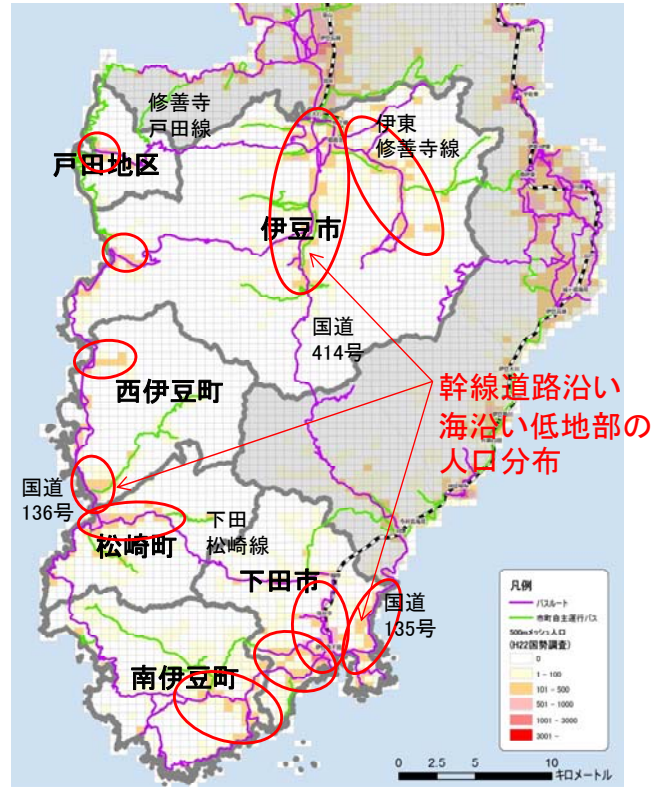


図 8 人口分布（500mメッシュデータ）（出典：H22国勢調査）

## (3) 将来人口推計

次頁に示す市町別将来人口推計では、今後30年間で人口が半減すると推計されている自治体もあるなど深刻な予想となっている。下図の1kmメッシュ単位で見ると、市町の中心部でも減少していくことが確認できる。

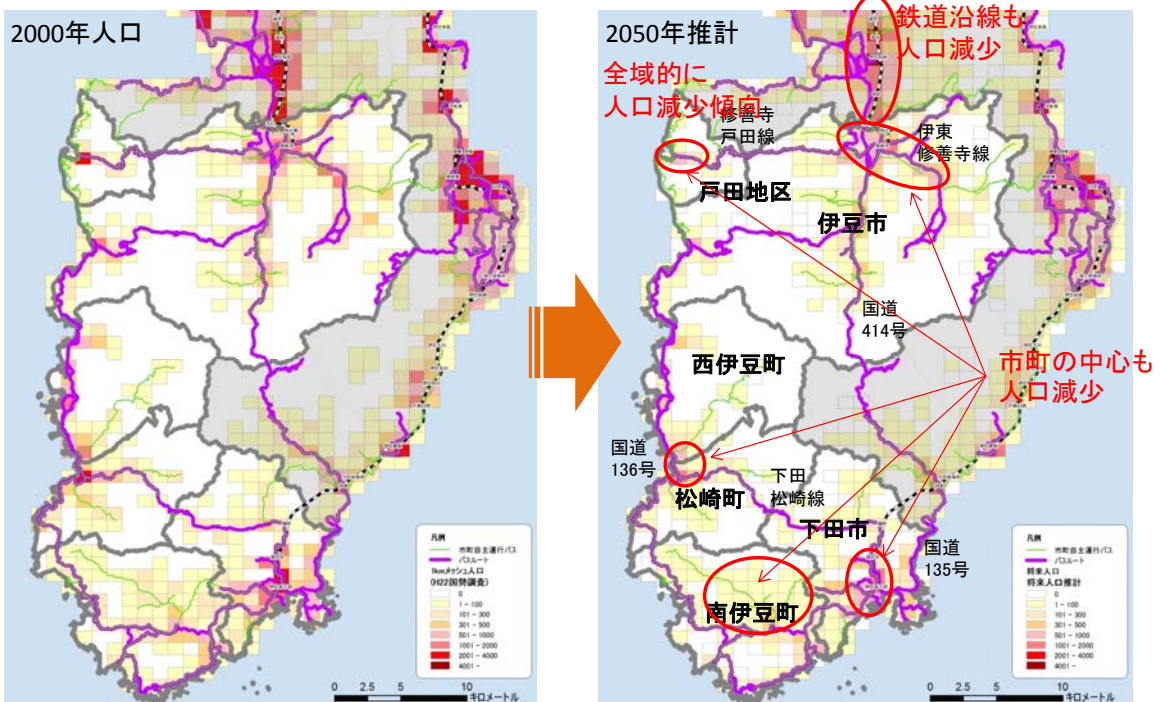
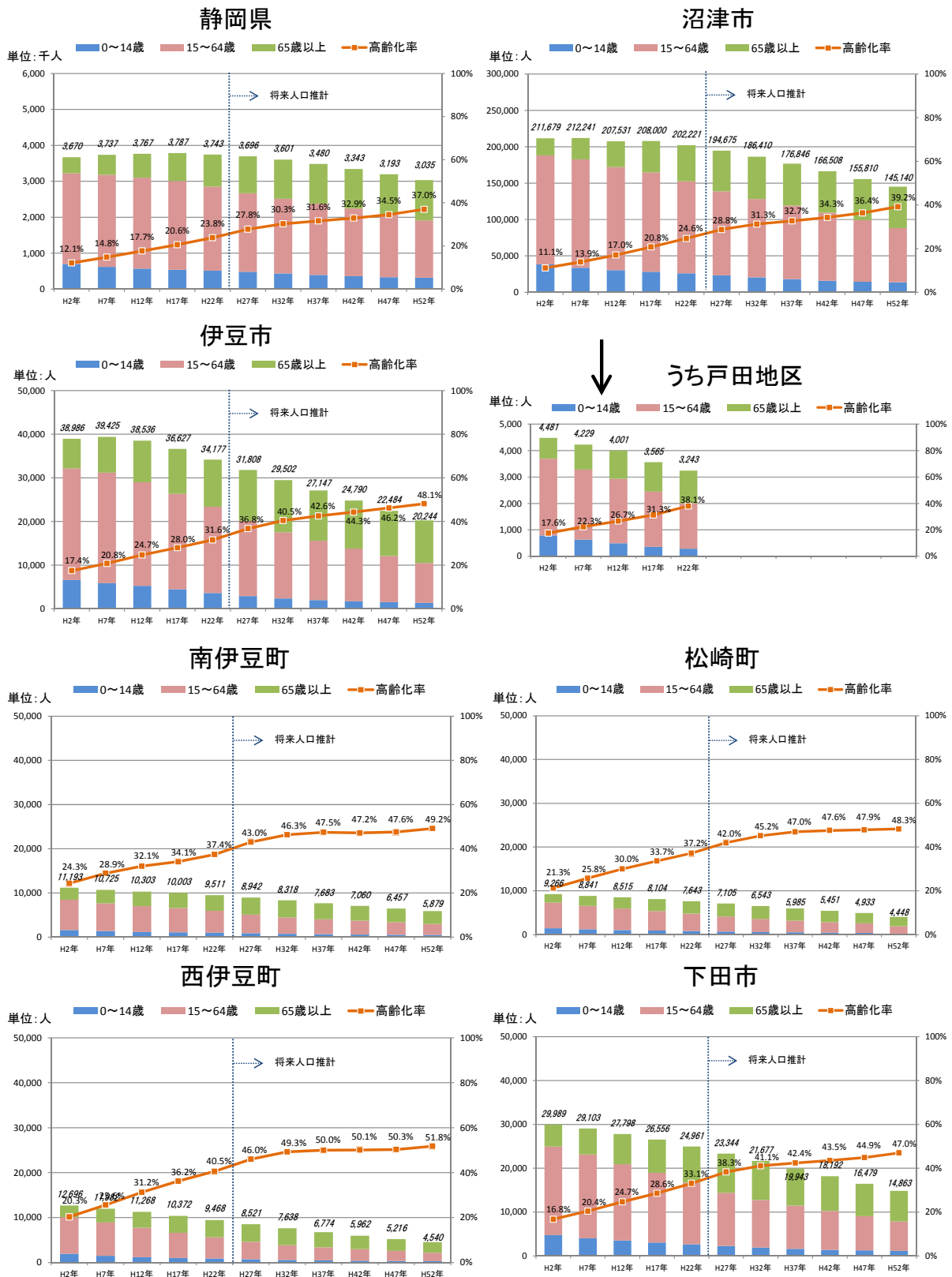


図 9 人口分布の比較（現状：2010年、将来推計：2050年、1kmメッシュ）



出典: H2~H22は国勢調査、H27以降は国立社会保障・人口問題研究所

図 10 将来人口推計 (市町別)

## 4 自動車及び免許保有状況

### (1) 自動車保有状況

世帯あたりの自家用自動車台数は、県全体と比べて低いが、1世帯に1台以上は保有している。1世帯あたりの人口は平成26年度で2.4人と少なく、高齢化率が40%近くになっていることを踏まえると、自身の運転や家族の送迎等の対応が今後難しくなることが懸念される。

表7 市町別自動車保有台数 ー人口・世帯比ー

地域・市町名	保有総数 (台)	うち 自家用 乗用車 (台)	うち 二輪・原付 (台)	平成27年4月1日現在							
				車両1台あたり人口(人)			1世帯あたり車両数(台)				
				保有総数	順位	自家用 乗用車	順位	自家用 乗用車	順位	二輪・ 原付	順位
<b>県計</b>	<b>3,157,958</b>	<b>2,165,565</b>	<b>415,402</b>	<b>1.17</b>	-	<b>1.70</b>	-	<b>1.51</b>	-	<b>0.29</b>	-
<b>伊豆半島(熱海市、伊東市、下田市、伊豆市等)</b>	<b>203,120</b>	<b>130,922</b>	<b>30,300</b>	<b>1.25</b>	-	<b>1.94</b>	-	<b>1.18</b>	-	<b>0.27</b>	-
熱海市	26,229	15,498	6,713	1.43	1	2.41	1	0.80	35	0.35	2
伊東市	52,551	35,254	8,348	1.31	5	1.95	4	1.14	33	0.27	21
下田市	20,334	12,431	3,203	1.14	25	1.86	10	1.19	31	0.31	7
伊豆市	28,684	18,351	2,897	1.09	28	1.71	16	1.51	20	0.24	32
伊豆の国市	38,972	26,831	4,304	1.25	9	1.81	13	1.39	24	0.22	35
東伊豆町	9,867	6,376	1,409	1.31	6	2.02	2	1.10	34	0.24	29
河津町	6,470	3,857	809	1.16	20	1.94	5	1.28	27	0.27	22
南伊豆町	7,570	4,414	993	1.15	21	1.98	3	1.23	30	0.28	19
松崎町	5,808	3,561	763	1.18	14	1.92	8	1.23	29	0.26	25
西伊豆町	6,635	4,349	861	1.26	8	1.92	9	1.17	32	0.23	34
<b>東部(沼津市、三島市、富士市等)</b>	<b>791,703</b>	<b>564,725</b>	<b>97,367</b>	<b>1.21</b>	-	<b>1.69</b>	-	<b>1.51</b>	-	<b>0.26</b>	-
沼津市	165,272	116,372	19,424	1.17	16	1.66	21	1.45	22	0.24	30
三島市	80,323	57,294	12,196	1.37	3	1.92	7	1.25	28	0.27	23
<b>中部(静岡市)</b>	<b>602,394</b>	<b>379,069</b>	<b>94,361</b>	<b>1.17</b>	-	<b>1.86</b>	-	<b>1.31</b>	-	<b>0.33</b>	-
静岡市	602,394	379,069	94,361	1.17	15	1.86	11	1.31	26	0.33	4
<b>志太・檜原・中東遠(磐田市、焼津市、掛川市、島田市等)</b>	<b>824,659</b>	<b>575,422</b>	<b>100,034</b>	<b>1.12</b>	-	<b>1.60</b>	-	<b>1.73</b>	-	<b>0.30</b>	-
<b>西部(浜松市、湖西市)</b>	<b>729,377</b>	<b>515,427</b>	<b>93,340</b>	<b>1.16</b>	-	<b>1.65</b>	-	<b>1.56</b>	-	<b>0.28</b>	-

注1) 人口(3,683,825人)、世帯数(1,438,099世帯)は平成27年4月1日現在の静岡県推計人口による。

注2) 市町別の台数には大型特殊自動車は含まれていない。

※沼津市戸田のみのデータがないため、沼津市全域のデータを使用

### (2) 自動車免許保有状況

運転免許保有者数は、5年間で2.3%減少しており、すべての市町で減少している。その原因として、自動車免許返納者は増加傾向にあり、その大半を高齢者が占めている。この理由として、平成24年4月から運転経歴証明書が新たに本人確認書類として認められたことにより返納者数の増加に拍車をかけているものと考えられる。また、静岡県タクシー協会が、免許返納者に料金を1割引する制度を設けているほか、沼津市において、免許返納者にタクシー利用券を配布する制度を設けていることも要因の一つである。今後、免許返納が進むことにより、外出手段が自動車から他の手段にかわる高齢者が増え、公共交通の必要性が高まると考えられる。

表8 市町別運転免許保有者数

市町	H22	H23	H24	H25	H26	5年間減少率
沼津市	135,899	135,250	134,629	134,253	133,619	-1.6%
下田市	15,938	15,797	15,588	15,516	15,374	-3.5%
伊豆市	23,047	22,914	22,752	22,569	22,369	-2.9%
南伊豆町	6,036	6,001	5,916	5,904	5,827	-3.4%
松崎町	5,016	4,926	4,810	4,729	4,681	-6.6%
西伊豆町	5,762	5,650	5,564	5,487	5,385	-6.5%
合計	191,698	190,538	189,259	188,458	187,255	-2.3%

※沼津市戸田のみのデータがないため、沼津市全域のデータを使用 (出典：交通年鑑 静岡県警察本部)

表 9 警察署別自動車免許返納者数の推移

警察署	該当市町	H23	H24	H25	H26	H27
静岡県全警察署管内	静岡県内すべて	5,850	7,581	6,738	9,504	11,727
下田警察署管内	下田市、南伊豆町、松崎町、西伊豆町 東伊豆町、河津町	100	142	115	171	229
大仁警察署管内	伊豆市、伊豆の国市	129	143	145	208	238
沼津警察署管内	沼津市、駿東郡清水町	421	463	350	493	716

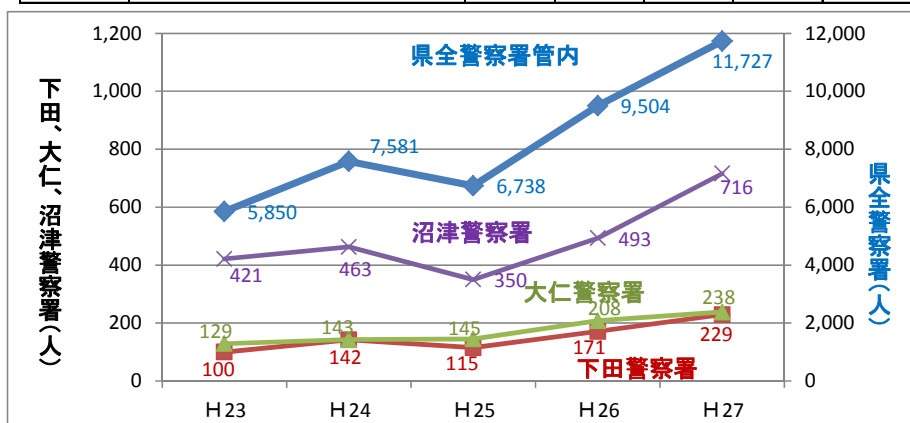


図 11 警察署別自動車免許返納者数の推移

表 10 警察署別自動車免許返納者数の推移（高齢者）

警察署	該当市町	H23	H24	H25	H26	H27
静岡県全警察署管内	静岡県内すべて	5,598	7,273	6,465	9,011	11,118
下田警察署管内	下田市、南伊豆町、松崎町、西伊豆町 東伊豆町、河津町	92	140	111	158	227
大仁警察署管内	伊豆市、伊豆の国市	123	138	139	197	225
沼津警察署管内	沼津市、駿東郡清水町	408	439	338	467	686

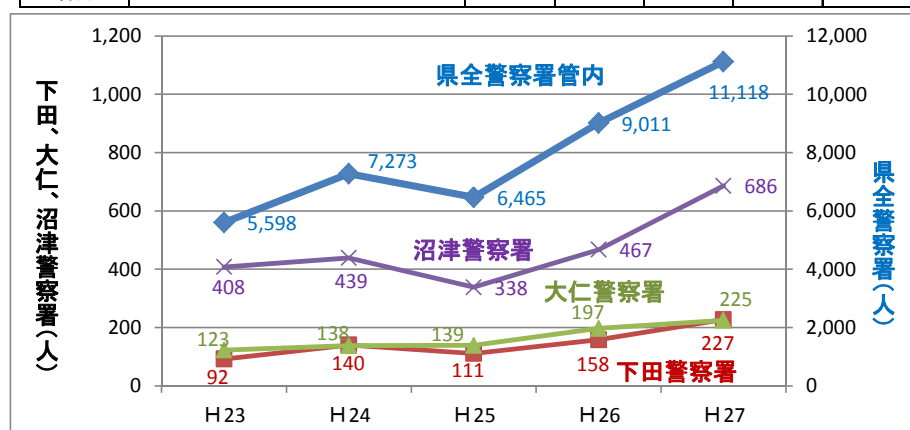


図 12 警察署別自動車免許返納者数の推移（高齢者）

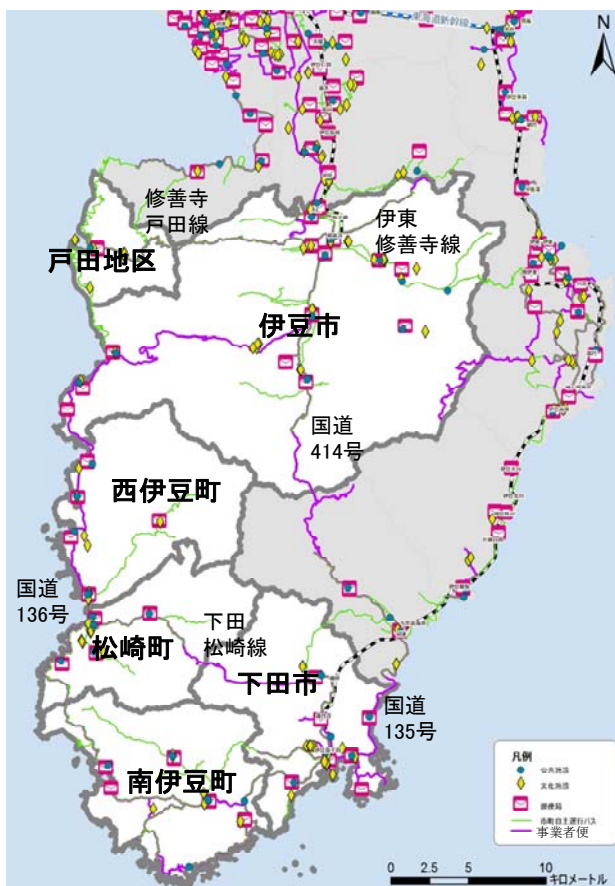
(出典：静岡県警察本部より聞き取り)



## 5 既存施設の立地状況

### (1) 公共施設、文化施設、郵便局

公共施設、文化施設、郵便局は、国道 136 号、国道 135 号、国道 414 号の伊豆市の修善寺地区や天城湯ヶ島地区などに比較的多く立地している。各施設は地区の中心部に多く分布しているが、一部施設を除いて、バス路線沿いに立地しており、現在の公共交通網を利用してアクセスすることが可能である。



出典：国土数値情報

図 13 公共施設、郵便局等の位置

### (2) 学校施設（小、中、高）

国道 136 号、国道 135 号、国道 414 号の伊豆市の修善寺地区や天城湯ヶ島地区、その他バス路線が運行する県道下田松崎線などの幹線道路沿いに学校が立地している。

当地域内には、①下田高等学校、②下田高等学校南伊豆分校、③松崎高等学校、④土肥高等学校、⑤伊豆総合高等学校の 5 つの高校が立地しており、生徒数の規模は下田高等学校、伊豆総合高等学校が大きい。

当地域外では、三島市、沼津市、伊豆の国市等に高校が立地しており、通学の選択肢となっている。三島北高等学校、韮山高等学校、三島南高等学校、伊豆中央高等学校、沼津工業高等学校、沼津商業高等学校などは生徒規模が大きいことから、公共交通の需要が大きいと考えられる。

また、小中学校、高校の統廃合が進み、さらに遠距離通学を余儀なくされる児童・



出典：国土数値情報

図 14 学校施設の位置

生徒が増えていることから、広域幹線バスの重要性が高まってくる。

生徒の居住市町と、通学先の高校が立地する市町間の移動の量と、高校ごとの生徒数を右図に示す。

高校の通学に係る地域間の移動は、下田市と南伊豆町の間、下田市、南伊豆町、西伊豆町から松崎町、伊豆市から松崎町などの移動が比較的多く見られることから、当地域を運行する西海岸線やバサラ線など、地域間を接続するバスによる広域移動の重要性が確認できる。

このほか、伊豆市から伊豆の国市、三島市、沼津市間の移動の発生傾向も見られ、当地域から鉄道を利用した広域移動の重要性が確認できる。

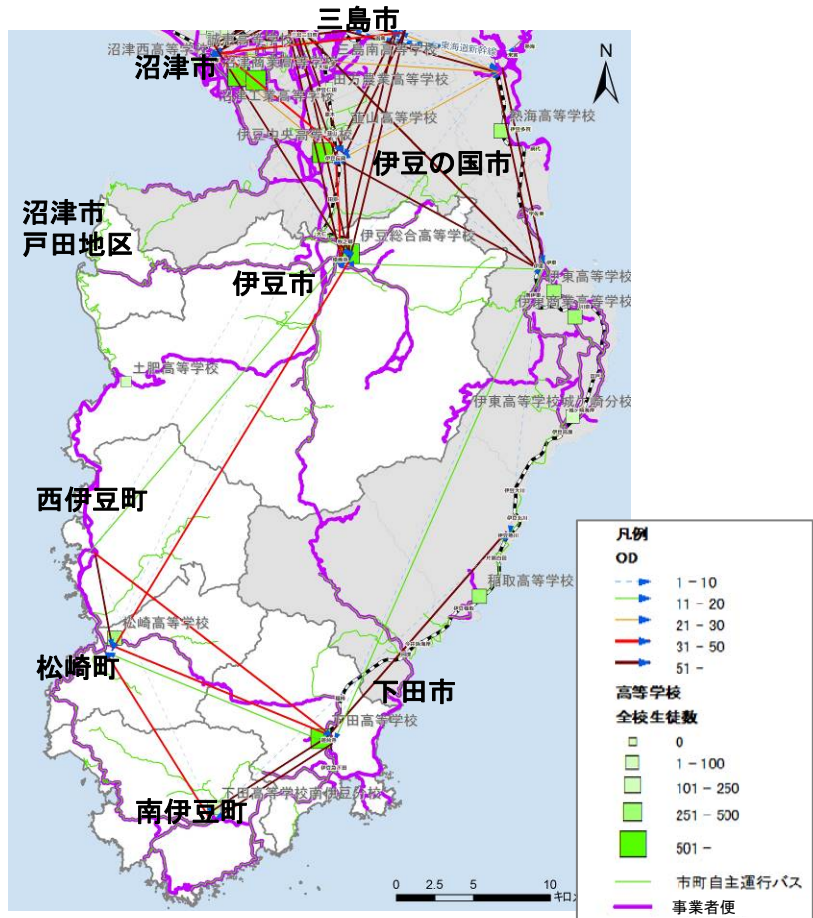


図 15 居住地と通学先、生徒数

表 11 居住地と通学先（高校）

所在地	高校名	居住地													合計	生徒数	備考
		熱海市	伊東市	三島市	函南町	伊豆の国市	沼津市	下田市	伊豆市	南伊豆町	松崎町	西伊豆町	その他	未記入			
熱海市	熱海高校	85	135	1	10	1	2						3	8	245	256	96%
伊東市	伊東高校	48	421										0	5	474	474	100%
伊東市	伊東商業高校	19	404										3	15	441	441	100%
伊東市	伊東高校城ヶ崎分校		97					2					6	8	113	113	100%
沼津市	沼津工業高校 ※	14		28	9	7	92		2				69	12	233	705	33%
清水町	沼津商業高校	13	7	61	23	19	251						148	38	560	601	93%
伊豆市	伊豆総合高校		12	99	102	196	23		160				14	38	644	665	97%
伊豆の国市	伊豆中央高校	9	4	170	66	147	44		74			1	72	6	593	603	98%
伊豆市	土肥高校					3	7		57		4	15	0	2	88	95	93%
松崎町	松崎高校							18	33	31	143	76	1		302	302	100%
東伊豆町	稲取高校		10					117		5			188		320	322	99%
下田市	下田高校		20					258		80	33	39	218	9	657	708	93%
南伊豆町	下田高校南伊豆分校							53		51		1	2		107	111	96%
三島市	三島北高校	20	46	217	26	30	202		17				271	5	834	834	100%
三島市	三島長陵高校	4	9	34	20	17	62		14				90	4	254	580	44%
函南町	田方農業高校	29	7	126	93	111	93		63		1		67	2	592	592	100%
伊豆の国市	韭山高校	30	62	279	84	177	35		50		1		101	4	823	823	100%
三島市	三島南高校	30	18	190	110	127	69		71				88	12	715	715	100%
沼津市	沼津城北高校	2	1	46	1	1	274		1				187		513	513	100%
	合計	303	1253	1251	544	836	1154	448	542	167	181	133	1528	168	8508	9453	

### (3) 医療施設

国道 136 号、国道 135 号、国道 414 号の伊豆市の修善寺地区や天城湯ヶ島地区の道路沿いに立地している医療施設が多く見受けられる。

当該地域及び近隣地域の第 3 次救急医療施設は順天堂大学附属静岡病院、第 2 次救急医療施設は下田メディカルセンター、伊豆赤十字病院、西伊豆病院、伊豆今井浜病院等が存在している。医療施設は、バス路線沿いに分布していることから、路線バスを利用して施設へアクセスすることが可能である。

第 2 次救急医療施設、第 3 次救急医療施設の高次医療施設は、市町をまたいで広域の通院が必要となり、地域間路線を維持・確保していく必要がある。



出典：国土数値情報

図 16 医療施設の位置

### (4) 福祉施設

国道 136 号、国道 135 号、国道 414 号の伊豆市の修善寺地区、県道下田松崎線などの主要な道路沿いに立地している福祉施設(高齢者関連)が多く見受けられる。

一部の施設でバス路線から離れた立地も見られるが、大半の施設は独自の送迎サービスなどにより移動手段を確保しており、福祉施設については、移動も含めてパッケージでサービスを提供していることから、本計画においては、検討の対象としない。



出典：国土数値情報

図 17 福祉施設(高齢者関連)の位置

### (5) 商業施設（大規模小売店舗）

伊豆市（修善寺地区）、下田市、南伊豆町、松崎町、西伊豆町のいずれも中心部に人口が集積しており、人口が集積した地区に大規模小売店舗が立地している。

大規模小売店舗は、幹線道路沿いを中心に立地しており、路線バスを利用して施設へアクセスすることが可能である。

（大規模小売店舗：店舗面積 1,000 m<sup>2</sup>以上）

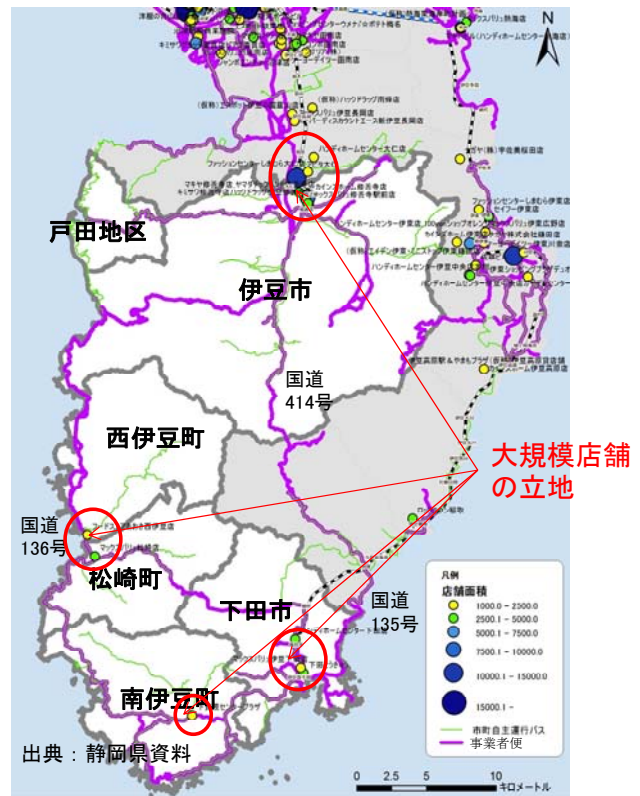


図 18 商業施設の位置

## 6 関係市町における新たな施設立地等の動向

公共交通での利用の可能性のある施設（公共施設、医療施設、商業施設、教育施設等）の施設立地等の動向について整理する。

学校関連施設については、平成 20 年度に下田高校（下田北高、下田南高）、平成 22 年度に伊豆総合高校（大仁高、修善寺工業高）に統合されたほか、過去 5 年間で伊豆市、南伊豆町、松崎町で小学校の統廃合が 5 件あった。今後、伊豆市土肥地区で小中学校の統合（平成 30 年 4 月）や、修善寺地区で 3 中学校の統合（平成 32 年 4 月）が予定されており、通学に係る公共交通の利用に影響が出ることが予測され、適切に公共交通網を見直していく必要がある。

### (1) 伊豆市

#### ●施設立地等の動向

伊豆市では、清掃センターの統合があるほか、コンパクトタウン&ネットワーク構想、文教ガーデンシティ構想が検討されており、中心市街地や周辺集落拠点などへの施設の集約化に留意した公共交通網形成が必要となる。

移転あるいは統合前		移転あるいは統合後		実施時期
施設名	現所在地	施設名	事後の所在地	
伊豆市清掃センター 土肥リサイクルセンター 土肥戸田衛生センター	柏久保 68-1 土肥 1481-4 小土肥 1460-3	（仮称）伊豆市 伊豆の国市清掃 センター	佐野	平成 34 年 4 月

※コンパクトタウン&ネットワーク構想：中心市街地（修善寺駅周辺）、周辺集落拠点（土肥、中伊豆、天城湯ヶ島）

※文教ガーデンシティ構想：新中学校・こども園・公園・住宅地等（加殿・日向）

### ●学校統合の動向

伊豆市では、平成 30 年 4 月に土肥小学校を現在の土肥中学校の敷地に移設し、小中一貫校となる予定である。また、修善寺中学校、中伊豆中学校、天城中学校が（仮称）伊豆中学校として、加殿・日向地区に統合される予定である。統合に伴い、児童、生徒の通学手段の確保の検討が必要となる。

統合前		統合後		実施時期
施設名（生徒児童数）	現在の所在地	施設名	事後の所在地	
土肥小学校（109 人）	土肥 638	（仮称）土肥小中一貫校	土肥 2701-1（現土肥中）	平成 30 年 4 月
修善寺中学校（390 人） 中伊豆中学校（185 人） 天城中学校（141 人）	柏久保 395 八幡 407 月ヶ瀬 853	（仮称）伊豆中学校	加殿・日向	平成 32 年 4 月

### (2) 沼津市戸田地区

#### ●施設立地等の動向

沼津市戸田地区では、平成 27 年 4 月に「道の駅くるら戸田」が新たにオープンし、これに合わせて、市民窓口事務所が「道の駅くるら戸田」に移転された。当施設は、観光の情報案内に加えて、行政機能や地域コミュニティ機能など戸田地区の拠点的な施設となっているため、公共交通による移動手段の確保の検討が必要となる。

移転前		移転後		実施時期
施設名	現所在地	施設名	事後の所在地	
戸田市民窓口事務所	戸田 339	くるら戸田	戸田 1294-3	平成 27 年 4 月

### (3) 西伊豆町

特になし

### (4) 松崎町

#### ●施設立地等の動向

松崎町では、下田警察署松崎分庁舎の移転が予定されている。

移転前		移転後		実施時期
施設名	現所在地	施設名	事後の所在地	
下田警察署松崎分庁舎	松崎町江奈 170-1	下田警察署松崎分庁舎	松崎町峰輪 450	平成 30 年

#### ●学校統合等の動向

松崎町では、平成 28 年 4 月に聖和保育園が松崎町江奈から峰輪に移転する予定である。

移転前		移転後		実施時期
施設名（生徒児童数）	現所在地	施設名	事後の所在地	
聖和保育園（82 人）	松崎町江奈 470	聖和保育園	松崎町峰輪 450	平成 28 年 4 月

## (5) 南伊豆町

### ●施設立地等の動向

南伊豆町では、特別養護老人ホームの新設が予定されている。

施設内容	住所	開設時期
特別養護老人ホーム（杉並区との連携 特別養護老人ホーム） 新設	南伊豆町加納 790	平成 30 年 1 月開設

## (6) 下田市

特になし

## 7 産業構造、事業所、従業者分布

当地域は、明治・大正・昭和初期にかけて、豊かな森林を生かした林業と周囲に良好な漁場をもつ漁業を中心に産業活動が続けられてきた。その後、地域全体としては林業と入れ替わるように観光産業が台頭し、現在では、観光及び関連する産業が地域経済の中心になっている。

観光資源としては、海・山・温泉等の自然に恵まれ、また、温暖な気候や歴史・文化資源、特色のある農林水産物を有している。水産業では、近海に多くの好漁場があるため、各地の漁港を拠点として、キンメダイ、イセエビ等多種多様な水産物が、水揚げされている。農産物は、温暖な気候に恵まれて古くから柑橘や花き等の栽培が行われているほか、山間地においては、わさび栽培や畜産が営まれており、カーネーション、わさび等が特産品となっている。

### (1) 市町別産業構造

産業構造を市町別に示す。

沼津市戸田地区を除く管内の市町は、第3次産業の割合が県全体に比べ高い傾向にあり、地域全体では約73%であり、県全体の約61%よりも高く、当地域の基幹産業が観光である特徴を示している。

また、1次産業の割合は、いずれの市町も県全体より高いが、特に沼津市戸田地区の割合が高い。

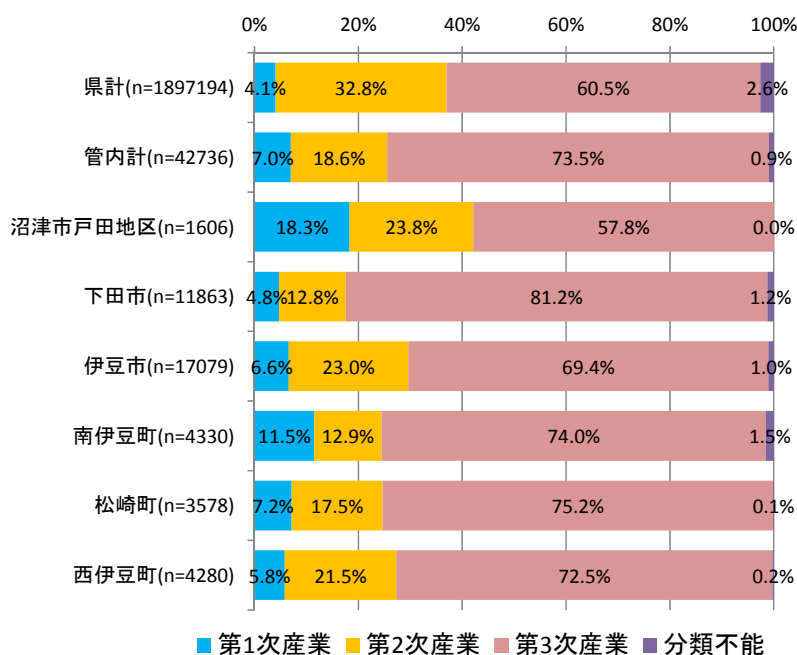


図 19 市町別産業構造

出典：国勢調査

## (2) 事業所の分布

各地区の事業所の分布を示す。

国道 135 号、国道 136 号、国道 414 号の伊豆市修善寺地区、県道伊東修善寺線、県道下田松崎線などの道路沿いに事業所が分布している。特に、伊豆市内の修善寺駅周辺や県道伊東修善寺線沿い、下田市から南伊豆町への幹線道路沿い等に多く分布している。事業所はバス路線に沿って概ね分布しているが、一部離れた立地がある。

事業所の定義：

事業所とは、経済活動が行われている場所ごとの単位で、原則として次の条件を備えているものをいう。

一定の場所（1 区画）を占めて、単一の経営主体のもとで経済活動が行われていること。

従業者と設備を有して、物の生産や販売、サービスの提供が継続的に行われていること。

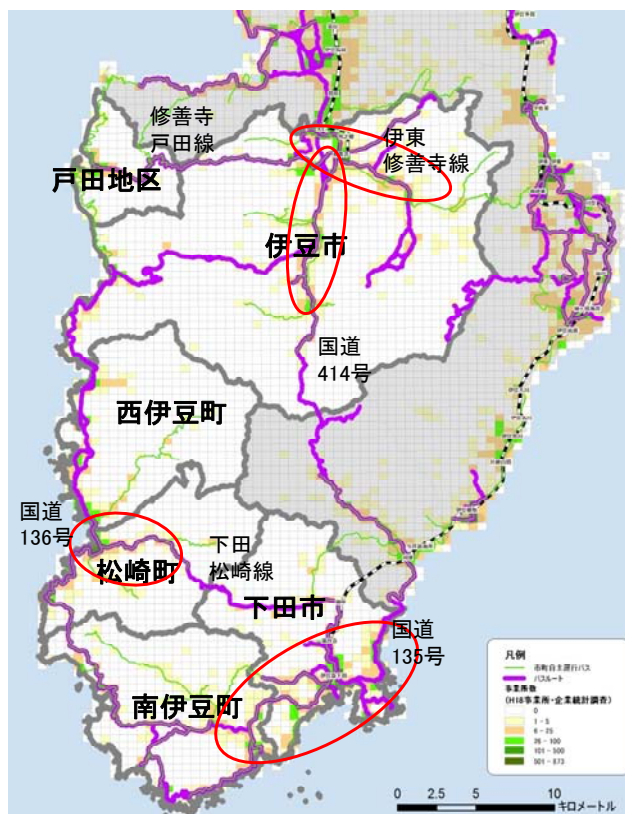


図 20 事業所数 (500mメッシュ)

(出典：平成 21 年経済センサス)

## (3) 従業者の分布

各地区の従業者の分布を示す。

(2)に示した事業所の分布に類似して、国道 135 号、国道 136 号、国道 414 号の伊豆市修善寺地区、県道伊東修善寺線、県道下田松崎線などの道路沿いなどに従業者が分布している。

特に伊豆市の修善寺駅や国道 414 号、県道伊東修善寺線沿いや、下田市から南伊豆町への国道 136 号沿い等に多く分布している。

従業者は、事業所と同様にバス路線に沿って概ね分布しており、公共交通の利用が可能な従業員が多いことが想定されるが、住民アンケート調査において、当地域の 20 歳代から 60 歳代では、約 75%が自動車での通勤を選択している現状がある。

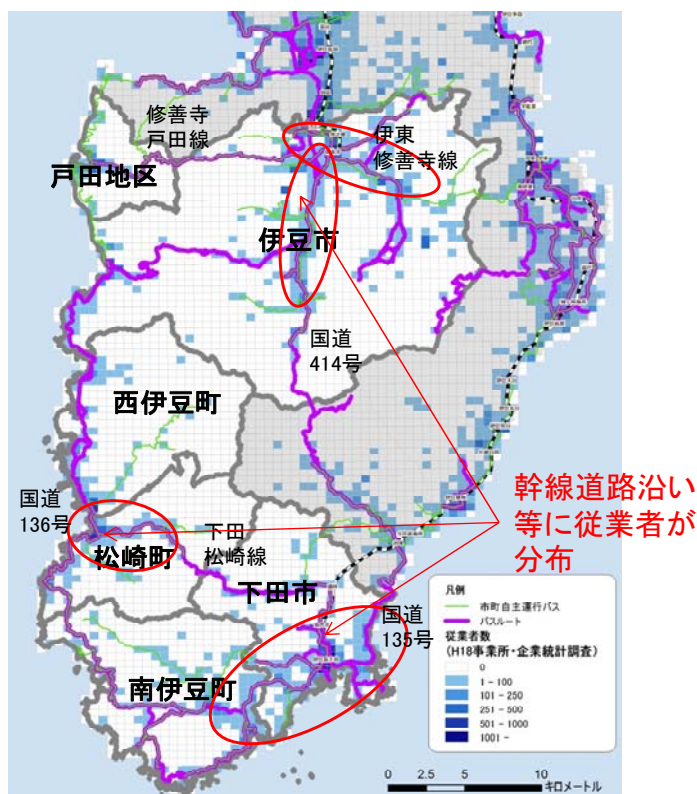


図 21 従業者数 (500mメッシュ)

(出典：平成 21 年経済センサス)

## 8 観光資源

### (1) 観光地等の分布

観光資源としては、海・山・温泉等の自然に恵まれ、また、温暖な気候や歴史・文化資源、特色のある農林水産物も有しており、首都圏への近接性を活かしたグリーン・ツーリズム、スポーツツーリズム等の体験型・交流型の観光が増えてきている。右図は観光地、ジオパーク、道の駅の分布状況を示しているが、幹線道路沿いを中心に分布している。

観光に関する動向として「伊豆半島ジオパーク」が平成24年に日本ジオパークネットワークに加盟し、世界ジオパークネットワークへの加盟を目指している。このような中、当地域を含む伊豆半島内の7市6町が連携して、「伊豆半島ジオパーク」をリーディングプロジェクトとして観光を中心とした地域振興を推進していく「伊豆半島ランドデザイン」を平成25年に策定した。さらに当地域は豊かな森林と国指定名勝「伊豆西南海岸」に代表される美しい自然環境、景観に恵まれているほか、地域の歴史・文化に根ざした多くの文化財が存在している。

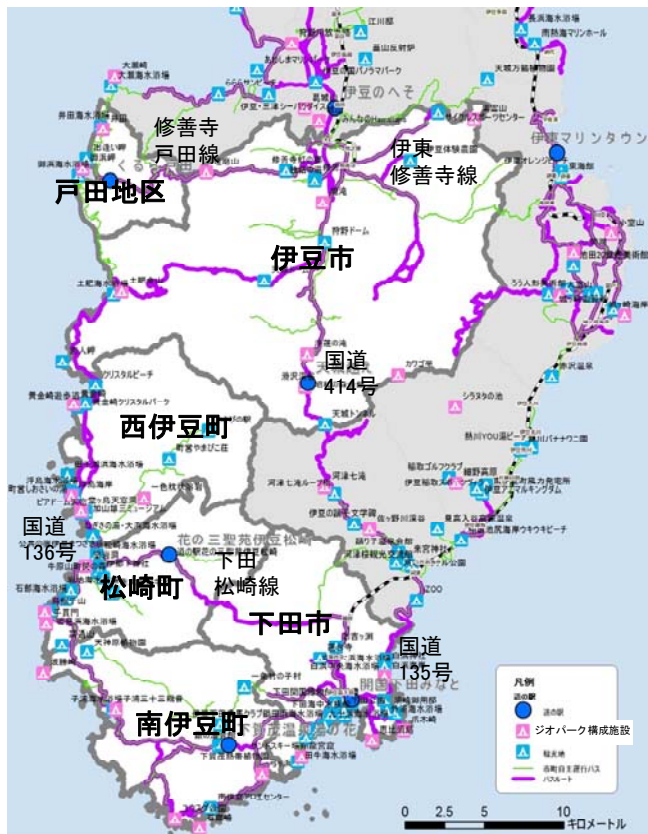


図 22 観光地および道の駅分布（ジオパーク含む）

観光地の公共交通のカバー率を算出した結果が右表のとおりである。バス停300m圏域とすると、公共交通を利用できる範囲に7割以上が立地しており、公共交通の観光利用の増加の可能性があることが分かる。

### (2) 観光地利用者数

観光客の利用が多い施設は、下田市の南東部（白浜海水浴場、爪木崎等）、伊豆市の修善寺周辺（修善寺虹の郷等）、伊豆市天城湯ヶ島地区の国道414号沿いや土肥港の周辺、西伊豆町及び松崎町の国道136号沿い等に立地している。

利用の多い観光地は、概ねバス路線沿いに立地しており、公共交通でカバーして

表 12 観光施設の公共交通によるカバー率

鉄道500m、バス停300m圏域カバー状況

	市町別施設数	公共交通カバー施設数	公共交通のカバー率
沼津市戸田地区	5	2	40.0%
下田市	26	18	69.2%
伊豆市	43	31	72.1%
南伊豆町	10	8	80.0%
松崎町	7	7	100.0%
西伊豆町	16	10	62.5%
全体	107	76	71.0%

表 13 観光施設利用者の公共交通によるカバー率

鉄道500m、バス停300m圏域カバー状況

	市町別観光利用者数	公共交通カバー観光利用者数	公共交通のカバー率
沼津市戸田地区	84,297	69,970	83.0%
下田市	1,460,018	1,190,168	81.5%
伊豆市	2,074,628	1,611,321	77.7%
南伊豆町	235,010	184,547	78.5%
松崎町	124,659	124,659	100.0%
西伊豆町	528,690	387,796	73.4%
全体	4,507,302	3,568,461	79.2%



いる観光施設の利用者数を観光利用者数で除した率を算出した結果が表13のとおりである。利用者数ベースでは、79.2%がカバーできており、公共交通を利用して観光できる可能性が確認できる。

### (3) 道の駅

道の駅は、道路利用者のための休憩機能及び利用者と地域住民への情報発信機能を備えた施設である。当地域内の施設の一覧を下表に示す。天城越え、開国下田みなとにおいて駐車容量が大きい。くるら戸田は、観光の情報発信機能に加え、市民窓口事務所、地区センター、高齢者交流ルームが設置されており、観光来訪者のみならず、地域住民の生活の拠点となっている。

いずれの道の駅も、付近にバス停が存在するが下賀茂温泉湯の花は、施設前にバス停がないため、改善を図る必要がある。

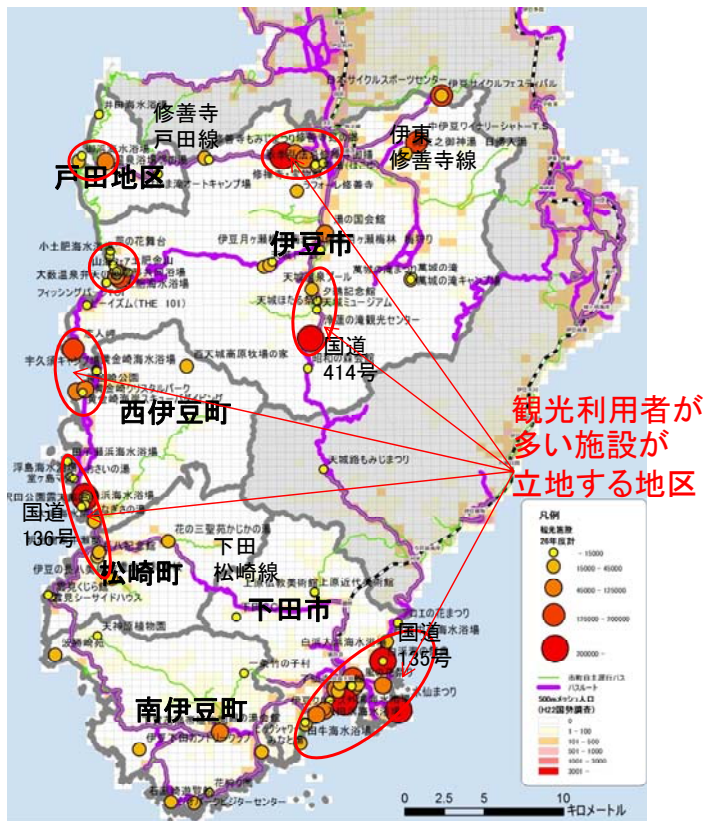


図23 観光地利用者数

表14 道の駅の施設

名称	施設							施設営業情報				駐車場			備考(地域の方の交流施設など)	
	道路情報	宿泊施設	風呂	温泉	レストラン 軽食	売店	山地直売所	レンタサイクル	レストラン	風呂	料金	大型	小型	障がい者		計
「花の三聖苑」伊豆松崎	○		○	○	○	○	○		9:00~17:00	9:00~19:30	500円	5	87	2	94	
下賀茂温泉 湯の花	○					○	○		なし	なし	-	3	51	2	56	観光案内所
開国下田みなと	○				○	○	○		11:00~15:30 17:00~20:00	なし	-	10	207	6	223	会議室、市民ギャラリー、観光協会窓口
くるら戸田	○		○	○	○	○			9:00~21:00	10:00~21:00	500円	3	42	2	47	市民窓口事務所、地区センター、高齢者交流ルーム、交流ロビー、観光情報発信
天城越え	○				○	○			10:30~15:30	なし	-	8	188	6	202	森の情報館等
伊東マリンタウン	○		○	○	○	○	○		11:00~20:30 (季節変動あり)	5:00~21:00 (季節変動あり)	1000円 (季節変動あり)	14	293	6	313	観光案内所
伊豆のへそ	○					○	○		なし	なし	-	14	52	2	68	

### (4) 観光交流客数推移

当地域は就業人口から、観光が主要産業となっていることが明らかであるが、平成26年度の観光交流客数と宿泊客数はそれぞれ845万人、241万人となっている。県全体に占めるシェアはそれぞれ5.7%、12.5%となっており、宿泊客の占めるウェイトが高い。しかし、5年前と比較すると、観光交流客数は55万人、宿泊客数は8万人減少しており、震災前の水準まで未だ回復していない。また、県全体に占めるシェアも低下している。

静岡県における外国人の延べ宿泊者数は平成27年(速報値)において176万人泊であり全国10位である。平成23年の33万人泊と比較すると5.3倍に増加しており、全

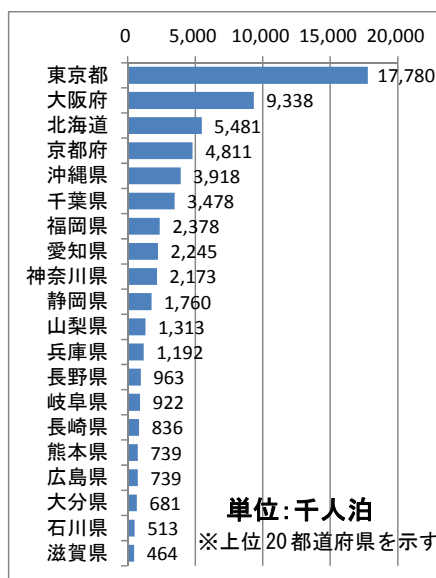


図24 都道府県別外国人延べ宿泊客数(平成27年)

国の増加率と比べても静岡県の増加傾向が顕著である。外国人の観光需要が増加することにより、外国人向けに公共交通の利用促進策を講ずることにより、公共交通の利用者の増加につながる事が期待できる。

表 15 外国人延べ宿泊客数の推移（全国と静岡県）（単位：千人泊）

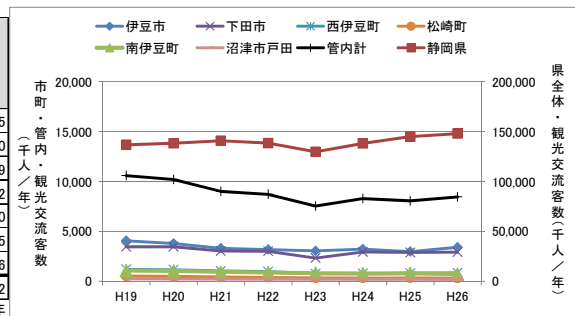
	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成27年／平成23年
全国	18,416	26,314	33,496	44,825	66,373	3.60
静岡県	334	494	560	786	1,760	5.28

（出典：観光庁・宿泊旅行統計調査）※全施設の外国人実宿泊数

観光交流客数（年度別）

	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
静岡県	136,713	138,241	140,749	138,433	129,661	138,081	144,968	147,935
伊豆市	4,071	3,791	3,321	3,188	3,051	3,231	2,975	3,420
下田市	3,465	3,468	3,038	3,010	2,346	2,943	2,893	2,929
西伊豆町	1,199	1,162	1,043	984	768	776	814	862
松崎町	531	490	443	419	338	347	351	330
南伊豆町	1,076	1,049	936	898	838	771	812	725
沼津市戸田	245	235	226	218	204	227	211	186
管内計	10,588	10,195	9,006	8,717	7,545	8,294	8,056	8,452

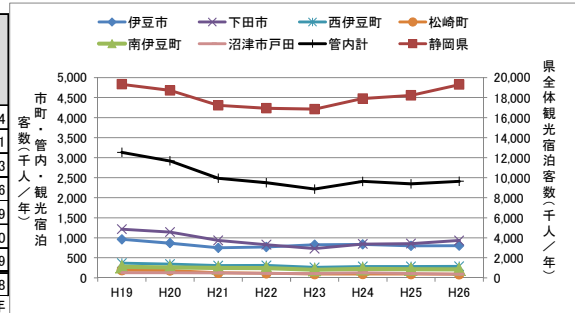
単位：千人/年



観光宿泊客数（年度別）

	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
静岡県	19,332	18,722	17,231	16,938	16,842	17,902	18,220	19,294
伊豆市	961	864	749	770	826	835	797	801
下田市	1,213	1,142	933	827	728	844	852	933
西伊豆町	365	343	306	309	260	283	283	286
松崎町	191	183	126	114	93	95	94	89
南伊豆町	275	259	247	244	202	222	215	210
沼津市戸田	127	128	123	110	106	127	105	89
管内計	3,132	2,918	2,484	2,374	2,215	2,406	2,346	2,408

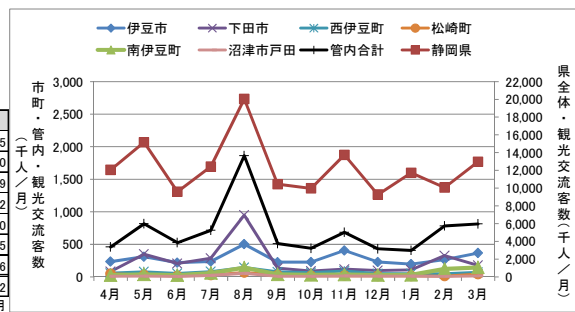
単位：千人/年



観光交流客数（平成26年度月別）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
静岡県	12,058	15,167	9,588	12,424	20,041	10,446	9,968	13,742	9,268	11,725	10,059	12,964	147,935
伊豆市	235	310	219	237	503	226	228	406	229	195	265	367	3,420
下田市	82	349	207	287	950	135	90	118	98	108	328	177	2,929
西伊豆町	57	78	54	82	144	77	65	89	50	49	47	70	862
松崎町	49	28	14	27	68	27	16	20	15	14	13	41	330
南伊豆町	27	39	26	60	143	38	31	36	28	31	122	144	725
沼津市戸田	9	12	7	23	55	10	9	15	11	11	8	15	186
管内合計	460	816	526	716	1,863	512	439	685	431	408	783	814	8,452

単位：千人/月



観光宿泊客数（平成26年度月別）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
静岡県	1,373	1,463	1,191	1,553	2,537	1,432	1,416	1,622	1,533	1,410	1,428	1,852	18,810
伊豆市	65	63	47	64	122	57	56	74	61	58	55	79	801
下田市	45	68	44	98	200	73	50	69	63	62	65	96	933
西伊豆町	18	21	19	24	36	22	26	30	21	23	21	25	286
松崎町	6	7	5	9	20	7	6	7	6	5	4	7	89
南伊豆町	11	16	11	20	42	14	14	16	15	14	17	21	210
沼津市戸田	5	6	3	6	19	4	5	7	7	9	7	10	89
管内合計	150	182	130	221	441	176	157	203	172	170	170	237	2,408

単位：千人/月

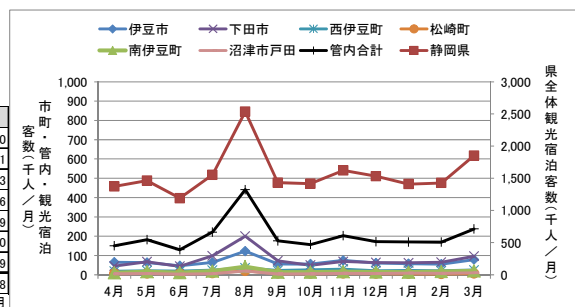


図 23 観光交流客数、宿泊客数の推移（年別・月別）

(5) 宿泊地（宿泊容量メッシュ）

玄関口である修善寺駅、伊豆急下田駅、土肥港周辺のほか、海岸沿いや、温泉地、主要な観光施設が立地する幹線道路沿いに宿泊量が集中している。

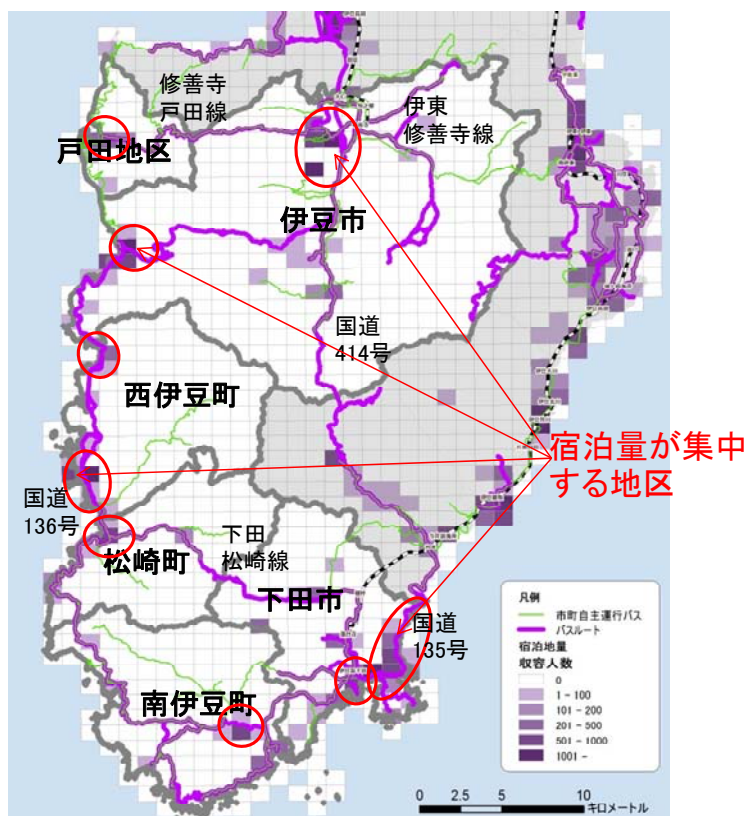


図 24 宿泊地（宿泊容量メッシュ）

上図の宿泊容量（人数）を、公共交通でどれほどカバーできているかを図上で算出した結果が下表のとおりである。バス停から 300m 圏域の宿泊容量カバー率は 40～70%程度であり、沼津市戸田地区や松崎町は比較的高いことから、公共交通で利用しやすい（バス停に近い）宿泊施設が多いと言える。

以上から、観光施設は公共交通で比較的カバー（表 13）されており、公共交通を利用した観光周遊の可能性があるが、宿泊施設では、公共交通を利用しづらい施設がある程度存在する（表 16）と言える。

表 16 宿泊容量の公共交通によるカバー率

鉄道500m、バス停300m圏域カバー状況

	宿泊容量	カバーしている容量	公共交通のカバー率
沼津市戸田地区	656	473	72.2%
下田市	4,762	2,417	50.7%
伊豆市	7,265	3,587	49.4%
南伊豆町	1,659	671	40.4%
松崎町	891	622	69.8%
西伊豆町	1,763	709	40.2%
全体	16,997	8,479	49.9%

## 1-2 公共交通の状況

### 1 公共交通網の状況

#### (1) 公共交通網の概況

当地域の公共交通網は、鉄道、航路を地域の玄関口として、地域内は路線バス網を中心に公共交通網が形成されている。

鉄道は、熱海駅から伊東駅間をJR伊東線が、伊東駅から東海岸に沿って伊豆急下田駅まで伊豆急行線が、三島駅から修善寺駅までを伊豆箱根鉄道駿豆線が運行している。

航路は、下田港等を拠点とした大島など伊豆七島への航路があるほか、駿河湾フェリーは土肥港から清水港を接続し、富士山を望むことができる本県観光の重要な航路となっている。

路線バスについては、東海岸の国道135号、西沿岸の国道136号、半島中央の国道414号、県道などを中心にバスが運行している。

当地域には鉄道がなく、基幹的な公共交通を路線バスが担っているが、人口の減少や自家用車の普及等により、利用者の減少が進んでいる。

直近の5年間で路線バスの退出による新たな交通空白地域の発生はないが、公共交通が存在しない交通空白地域が把握されている。

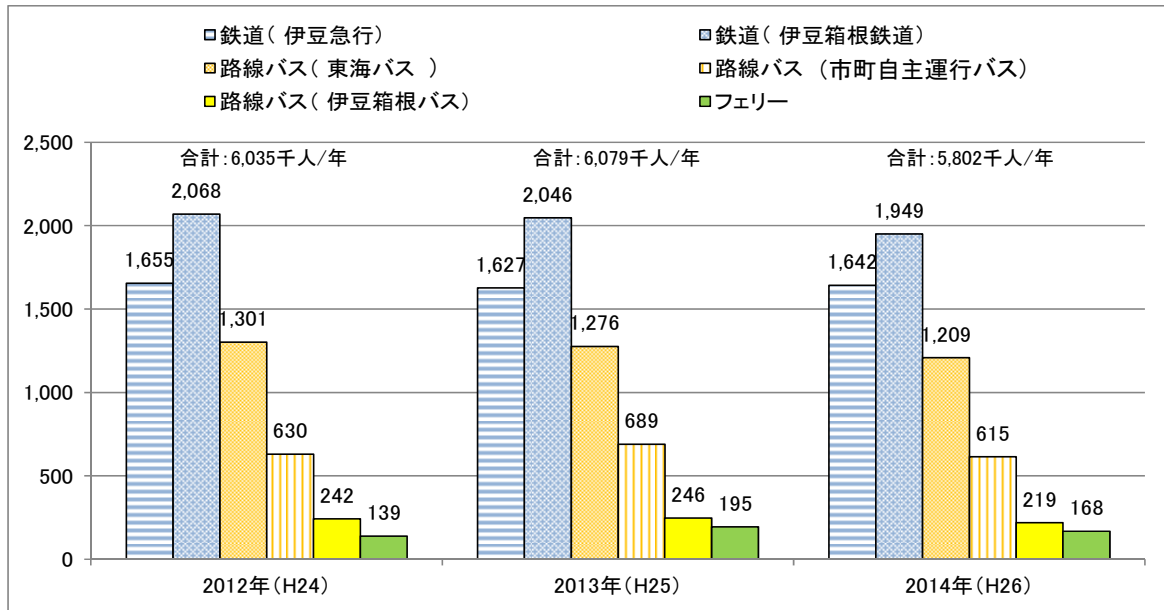
戸田運送船  
(沼津ホワイトマリン)  
(H26.8廃止)



図 25 公共交通網の概況

#### (2) 公共交通の利用状況の推移

公共交通（鉄道、バス、フェリー）の利用者数は、平成24年度から25年度にかけて若干の増加傾向にあったが、平成26年度において前年よりも277千人減少している。



伊豆急行: 下田駅、蓮台寺駅、稲梓駅の年間乗降人員の合計、伊豆箱根鉄道: 修善寺駅、牧ノ郷駅の年間乗降人員  
 東海バス: 対象地域での年間輸送人員  
 伊豆箱根バス: 対象地域での年間輸送人員、フェリー: 年間輸送人員

図 26 公共交通の利用状況の推移

(3) 公共交通による人口カバー率

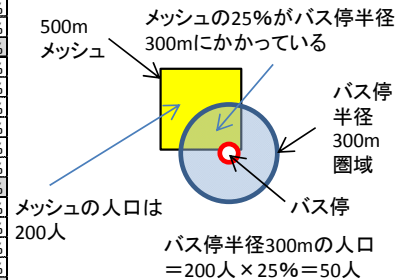
当地域での公共交通（鉄道駅半径 500m、バス停半径 300m）による人口カバー率は 68.5% となっている。

市町別では、伊豆市、下田市が比較的高い一方、西伊豆町、南伊豆町、松崎町が比較的低い。地区別では、伊豆市や西伊豆町において、人口が分布していながらバスが運行していないエリアがあるほか、南伊豆町においては、山間部で人口が分散しているため、バスが運行できないエリアがある。

表 17 公共交通による人口カバー率

		地区別人口(H22 国勢調査)	公共交通カバー 人口	公共交通の 人口カバー率
沼津市戸田地区		3,323	2,152	64.7%
下田市	稲梓地区	2,572	1,586	61.7%
	稲生沢地区	7,313	6,870	93.9%
	下田・武ガ浜地区	5,668	4,458	78.6%
	朝日地区	4,208	2,399	57.0%
	白浜地区	2,145	1,073	50.0%
	浜崎地区	3,107	2,121	68.3%
	合計	25,013	18,507	74.0%
伊豆市	修善寺地区	15,273	12,652	82.8%
	土肥地区	4,389	2,971	67.7%
	天城湯ヶ島地区	6,691	4,334	64.8%
	中伊豆地区	7,849	4,698	59.9%
	合計	34,202	24,655	72.1%
南伊豆町	南崎地区	876	532	60.8%
	南中地区	2,721	1,888	69.4%
	三浜地区	1,070	445	41.6%
	竹麻地区	2,729	1,663	60.9%
	三坂地区	894	507	56.7%
	南上地区	1,226	610	49.8%
合計	9,516	5,646	59.3%	
松崎町	中川地区	1,588	1,025	64.5%
	岩科地区	1,012	666	65.8%
	三浦地区	881	410	46.5%
	松崎地区	4,172	2,460	59.0%
合計	7,653	4,560	59.6%	
西伊豆町	仁科地区	3,896	2,488	63.9%
	宇久須地区	1,807	656	36.3%
	安良里地区	1,284	718	55.9%
	田子地区	2,482	1,689	68.1%
	合計	9,469	5,551	58.6%
合計	89,176	61,071	68.5%	

※公共交通カバー率の算出方法  
 ・鉄道駅から半径 500m、バス停から半径 300m の円に重なるメッシュについて、重なる面積を算定  
 ・メッシュ全体のうち重なる面積の割合をメッシュの人口にかけ、カバー人口を算出



※通院、通学のためのみに運行する便は考慮していない

※鉄道駅から半径 500m、バス  
停から半径300mの人口カバ  
ー率（GISにて計測）

※人口が分布しているが、路  
線バスでカバーできていな  
い主な地区を赤丸で図示。

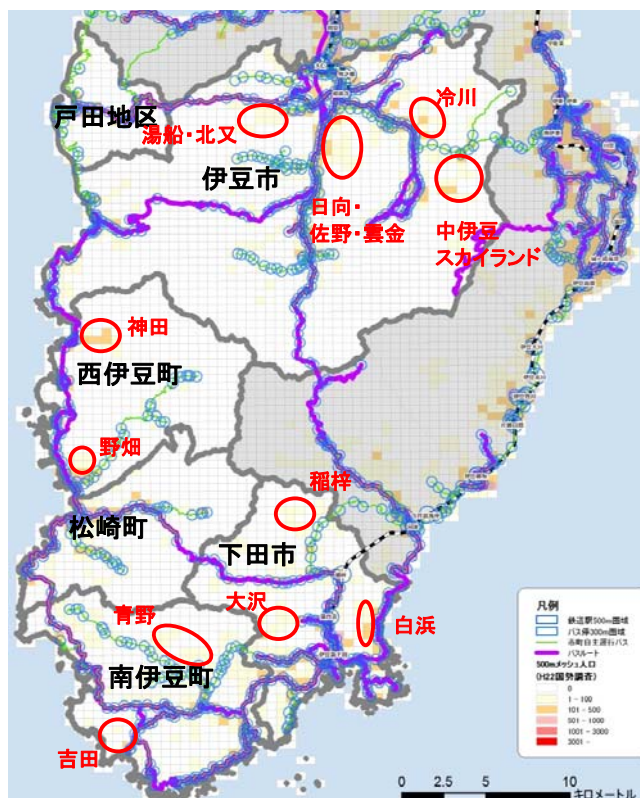


図 27 公共交通（鉄道、バス）による人口カバー状況

#### (4) 鉄道の運行概況

鉄道は、熱海駅から伊東駅間を J R 伊東線が、伊東駅から東海岸に沿って伊豆急下田駅まで伊豆急行線が、三島駅から修善寺駅までを伊豆箱根鉄道駿豆線が運行している。

##### ●伊豆箱根鉄道駿豆線の概況（当地域に立地する鉄道駅：修善寺駅、牧ノ郷駅）

	修善寺駅→三島方面（上り）	三島→修善寺駅方面（下り）
各駅停車	69 本（始発：5:29 発、終発 22:56 発）	70 本（始発：6:20 着、終発 22:56）
特急踊り子号（毎日運行）	2 本	2 本
特急踊り子号（日曜運行）	2 本	1 本
特急踊り子号（指定日運行）	1 本	1 本

（出典：伊豆箱根鉄道ホームページ 平成 28 年 3 月時点）

##### ●伊豆急行線の概況（当地域に立地する鉄道駅：伊豆急下田駅、蓮台寺駅、稲梓駅）

	伊豆急下田駅→伊東方面（上り）	伊東→伊豆急下田駅方面（下り）
各駅停車	29 本（始発/5:40 発、終発/22:40 発）	29 本（始発/6:49 着、終発/23:37 着）
特急踊り子号（毎日運行）	6 本	6 本
特急踊り子号（指定期間運行）	上記の他 3 月など 日によって追加便あり	上記の他 3 月など 日によって追加便あり

（出典：伊豆急行ホームページ 平成 28 年 3 月時点）

#### (5) フェリーの運行概況

駿河湾フェリーは清水港から土肥港へ1日4往復運行しており、土肥港でバス路線と接続している。

●駿河湾フェリーの概況（当地域に立地する港：土肥港）

	土肥港→清水港	清水港→土肥港
ドック期間等を除く毎日	4本 (土肥港発/9:20, 12:00, 14:40, 17:20)	4本 (土肥港着/9:05, 11:45, 14:45, 17:05)

(出典：エスパルスドリームフェリーホームページ 平成28年3月時点)

(6) タクシーの概況

タクシー事業者は、当地域で9社あり、車両数は合計153台（うち2台がUD車両）である。

タクシーの営業所は伊豆市、下田市、西伊豆町、沼津市戸田地区に立地している。西伊豆町や沼津市戸田地区は営業所があるものの、車両数は少なく、また松崎町や南伊豆町は営業所がないため、地域内交通の検討の際の留意事項となる。

市郡	番号	事業者名	営業所名	車両数	UD車両数
沼津市	①	戸田交通	本社	4	
下田市	②	伊豆急東海タクシー	下田	27	1
	③	ヒフミ自動車	本社	16	
	④	栄協	本社	21	
伊豆市	⑤	伊豆土肥交通	本社	5	
	⑥	天城タクシー	本社	8	
	⑦	寺山自動車	本社	29	
	⑧	伊豆箱根交通	修善寺	38	1
西伊豆町	⑨	エイ、ケイ	堂ヶ島	5	
合計				153	2

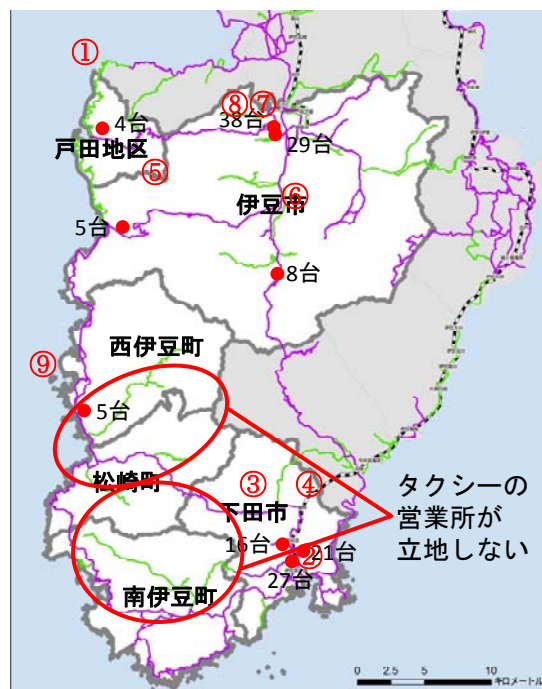


図 28 タクシー事業者の状況

(7) バス路線の区間所要時間

赤字は、バス路線網の主要区間の所要時間、青字は同区間を自動車で移動した場合の所要時間を示している。各市町の拠点間のバス、自動車の所要時間の比較は下表のとおりである。バスは自動車に比べて1.2～1.6倍の所要時間がかかり、利用促進を図るためには、乗車時間の短縮化を図る必要がある。

	距離	バス所要時間 ※ (A)	自動車所要時間 ※※ (B)	自動車に対してバスのかかる時間の割合 (A)/(B)
修善寺駅-戸田間	約23km	約50分	約36分	1.4
修善寺駅-土肥間	約28km	約53分	約38分	1.4
修善寺駅-堂ヶ島間	約47km	約92分	約62分	1.5
修善寺駅-松崎間	約50km	約100分	約67分	1.5
松崎-伊豆急下田駅間	約26km	約50分	約39分	1.3
松崎-下賀茂間	約32km	約67分	約43分	1.6
下賀茂-伊豆急下田駅間	約11km	約25分	約17分	1.5
伊豆急下田駅-石廊崎間	約17km	約31分	約25分	1.2
修善寺駅-伊豆急下田駅間	約52km	約120分	約74分	1.6

※東海自動車時刻表より  
※※NAVITIMEにて試算

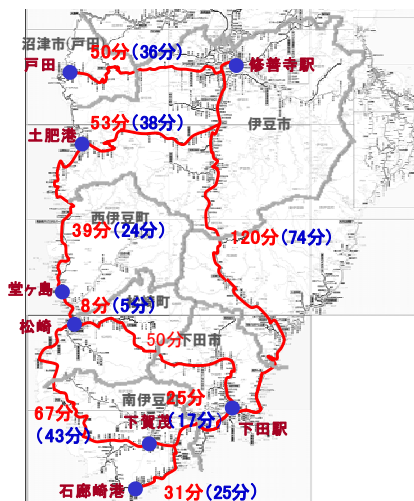


図 29 バス路線の区間所要時間

## (8) 路線バス網と運行本数

### ○バス路線網と運行本数（平日）

地域間を結ぶ路線（伊豆市～西伊豆町～松崎町、下田市～南伊豆町、下田市～松崎町など）は、運行本数が1本/時以上である。修善寺駅から出口バス停までの間は、松崎方面への路線と、湯ヶ島温泉までの路線、下田・河津方面の路線が重複しており、運行本数が2本/時以上、下田駅から日野バス停までの間は、下賀茂方面、仲木方面、石廊崎方面の路線が重複しており、運行本数が2本/時以上である。松崎バス停から堂ヶ島バス停の間は、西海岸線とバサラ線、松崎町内の自主運行の路線が重複しており、運行本数が2本/時以上である。一方で、地域内を運行するバス路線については、伊豆市内を除き、運行本数が少ない。

### ○バス路線網と運行本数（休日）

平日と同様の傾向にあるが、伊豆市内、下田市市内の一部路線において平日と比較して本数が少ない。

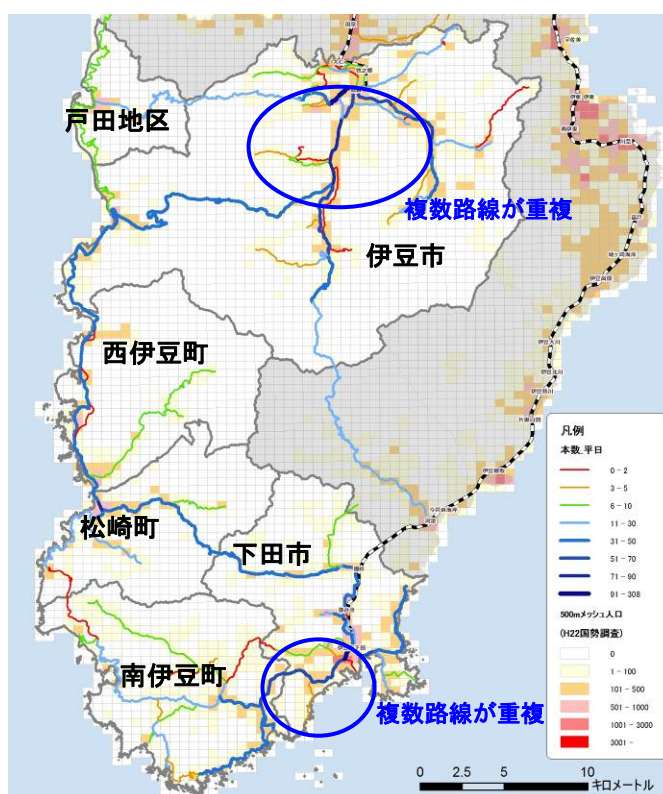


図 30 路線バス網と運行本数（上：平日、下：休日）  
出典（バス路線運行本数）：各事業者 HP より（H27.09 時点）





ある。松崎バス停（松崎町）、堂ヶ島バス停（西伊豆町）は、路線バスの利用はしやすいが、バス以外の交通手段の利用ができないという課題がある。ネットワークとして機能させるためには結節点の機能付加、改善が必要である。

表 18 各市町の代表的な交通拠点における移動環境

市町名	代表的な交通拠点名	鉄道	路線バス	タクシー	レンタカー	レンタルバイク	その他拠点施設の状況等
伊豆市	修善寺駅	○	○	○	○	○	各方面への路線バスも存在し、レンタカーやレンタルサイクル等への乗り換えも可能であり、ターミナル機能を有する
下田市	伊豆急下田駅	○	○	○	○	○	
河津町	河津駅	○	○	○	×	×	バスやタクシーへの乗り換えはしやすいが、周辺観光地への移動手段の案内は少ない
東伊豆町	伊豆熱川駅	○	○	○	×	×	鉄道駅の周辺に観光地(温泉)が多く、徒歩での周遊がしやすい
南伊豆町	下賀茂(バス停)	×	○	○	×	×	町内のジオサイト等まで距離もありターミナル機能は弱い
松崎町	松崎(バス停)	×	○	×	×	×	バス以外の交通手段の利用がしにくい
西伊豆町	堂ヶ島(バス停)	×	○	×	×	×	各地とのバスでの移動はしやすい
旧戸田村	戸田(バス停)	×	○	○	×	○	移動手段は多いがバス便数が少なく周辺とのつながりが薄い

※上表の注意 半島振興連携促進調査（平成 27 年度：国土交通省実施）における調査実施時点の状況を示す。各交通拠点における交通の接続状況については、あくまでも交通拠点に隣接し、案内等が目視できるものを示している。（このため、堂ヶ島のタクシーや、松崎町のレンタルサイクルは「×」となっている。）

### (11) 結節点の接続状況

既存路線で複数路線の起終点となっているバス停を対象として結節点の状況を整理する（対象地区内の 2 駅 5 バス停を対象に整理）。この結果、バスから鉄道の乗継ぎや、地域内路線から地域間路線への乗継ぎは概ね確保されているが、一部、路線バス間の乗継ぎ時間で 30 分以上要するケースが発生する等、一部では乗継ぎが不便な結節点も存在している。

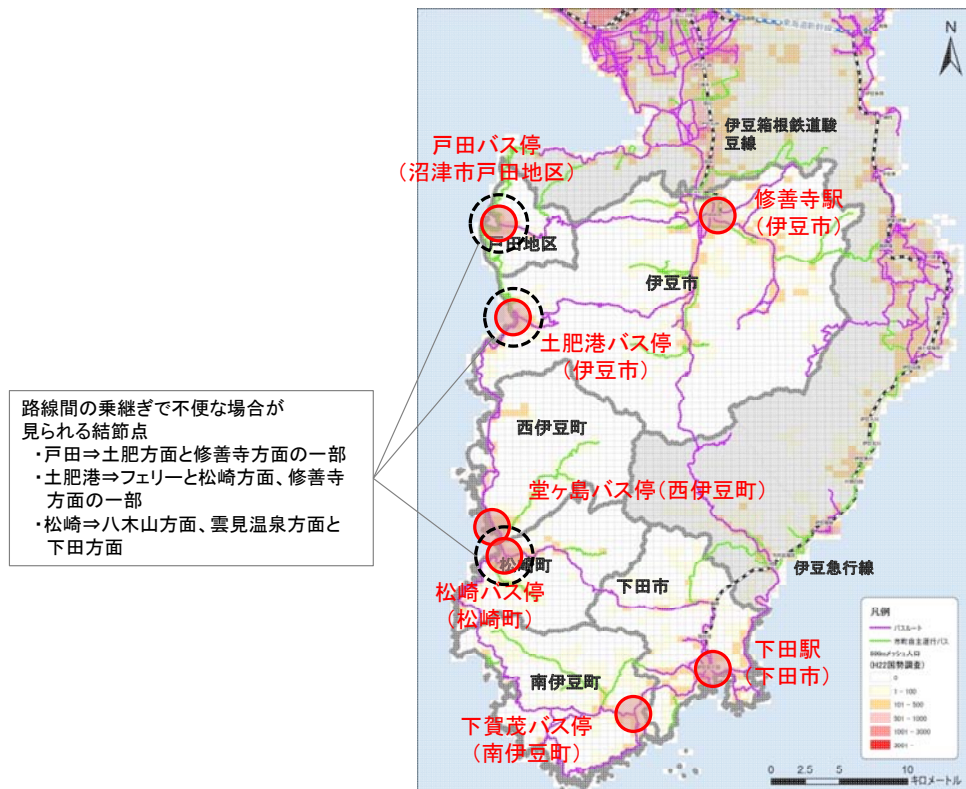


図 31 結節点の状況

< 結節点の接続状況 >

①伊豆市<修善寺駅>



○鉄道→バスの結節状況(踊り子号の到着)観光

伊豆箱根鉄道 ・午前11時台 →11:08 踊り子号到着 (毎日運行)	修善寺駅	堂ヶ島・松崎行 11:20発 戸田、修善寺温泉、虹の郷行 11:30発 湯ヶ島温泉行 11:35発 持越温泉行 16:21発 修善寺温泉行 11:20発
三島から		
伊豆箱根鉄道 ・14時台→14:06 踊り子号到着 (毎日運行)	修善寺駅	堂ヶ島・松崎行 14:25発 戸田、虹の郷行 14:20発 湯ヶ島温泉行 14:35発 持越温泉行 16:21発 修善寺温泉行 14:14発
三島から		

踊り子号に概ね接続

・踊り子号からの接続について、概ね接続できている。(一部路線については運行本数が少ないため接続できていない)  
※接続が30分以上となるダイヤについて赤文字で表示

○バス→鉄道の結節状況(朝時間帯)通勤・通学

松崎発 6:40, 7:25, 7:45着	修善寺駅	伊豆箱根鉄道 ・午前6時台 →1分、24分、32分 44分、57分発 ・午前7時台 →5分、18分、31分 41分、54分発	至三島 鉄道の本数が多く、短い乗り継ぎ時間で接続
戸田発 6:58着			
湯ヶ島発 7:01, 7:20, 7:37, 7:50着			
持越温泉発 7:01, 7:50着			
柿木大野発 7:30着			
中伊豆温泉病院発 7:55着			
下尾野口発 7:01, 7:55着			
沢口発 7:55着			
上大沢発 6:52, 7:27着			
湯舟口発 6:48, 7:34着			

○鉄道→バスの結節状況(夕方時間帯)通勤・通学

伊豆箱根鉄道 ・17時台 →4分、20分、 36分、52分着	修善寺駅	松崎行 17:45, 18:45発(鉄道8本に対し2本) 戸田行 17:30, 18:50発(鉄道8本に対し2本) 湯ヶ島行 17:10, 17:40, 18:30, 19:30発 持越温泉行 17:40発(鉄道8本に対し1本) 柿木大野行 18:10発(鉄道8本に対し1本) 中伊豆温泉病院行 17:10発(鉄道8本に対し1本) 下尾野口行 17:45, 19:15発(鉄道8本に対し2本) 沢口行 (なし) 上大沢行 16:00発(鉄道8本に対し1本) 湯舟口行 17:40, 18:38発(鉄道8本に対し2本)
・18時台 →7分、23分、 39分、55分着		
三島から		
バス本数は限られており接続に課題		

・到着する鉄道が2時間あたり概ね8本程度であることに比べ、各方面のバスは1~2本となっており、30分以内での接続が困難なダイヤがある  
※これらは30分以内での接続が困難なダイヤあるいは接続できない路線(赤文字で表示)と言える

②伊豆市<土肥港>



・駿河湾フェリーと路線バス、路線バスでの戸田方面と修善寺方面の接続は概ね良い(10~20分で接続)が、一部便(下図で赤文字で示す便)は30分以上の接続である。

○バス、フェリーの結節状況

○修善寺→戸田の乗り継ぎ ・土肥温泉着 06:50発 接続なし 12:41着 13:00発 16:16着 16:35発 17:16着 17:35発 17:51発 18:30発	至戸田	○戸田→修善寺の乗り継ぎ ・土肥温泉着 07:54着 08:03発 10:40着 10:50発 15:55着 15:50, 14:22発 17:25着 17:52発 18:05着 19:10発
駿河湾フェリー 至清水港	土肥温泉	至修善寺
清水港行き 09:20発 土肥港行き 09:05着 12:00発 11:45着 14:40発 14:25着 17:20発 17:05着		
○バス路線~フェリーの乗継	至修善寺	
・(バス)土肥港発 ※修善寺行き 09:29発 08:58着 12:17発 11:23着 14:49発 14:23着 17:49発 16:18着	土肥港	・(バス)土肥港着 ※修善寺始発 08:58着 08:58着 11:23着 11:23着 14:23着 14:23着 16:18着 16:18着
・(バス)土肥港着 ※松崎始発 08:39着 09:30発 11:47着 12:15発 14:19着 14:40発 16:47着 17:20発	土肥港	・(バス)土肥港発 ※松崎行き 09:30発 09:30発 12:15発 12:15発 14:40発 14:40発 17:20発 17:20発

③沼津市戸田地区<戸田>



・戸田において各方面のバス路線、デマンド交通が接続する。デマンド交通から路線バスの接続の状況を見ると、赤文字で示す便は30分以内の接続が無い便となっている

○バス同士の結節状況

○デマンド交通(戸田~江梨)	至江梨、沼津	
・戸田着 08:47着 09:47着 11:17着 12:37着 15:12着 17:12着	○バス路線 ・戸田着 19:44着 06:35発	
・戸田発 07:50発 08:50発 10:20発 11:40発 14:15発 16:15発	至修善寺	
○バス同士の結節状況	至土肥温泉	
・戸田着 07:20着 13:30着 17:05着 18:06着 19:01着	戸田	・戸田発 06:10発 07:20発 10:00発 12:00発 14:20発 17:00発 18:06発 18:30発 19:01発

④西伊豆町<堂ヶ島>



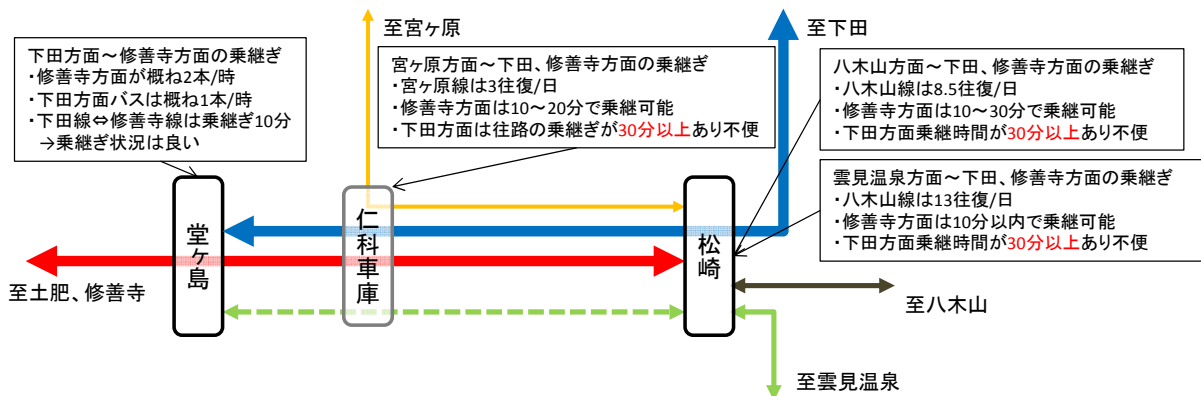
・宮ヶ原方面から下田方面への乗継ぎが30分以上あり不便

⑤松崎町<松崎>



・八木山方面、雲見温泉方面から下田方面への乗継ぎが30分以上ある場合があり、不便

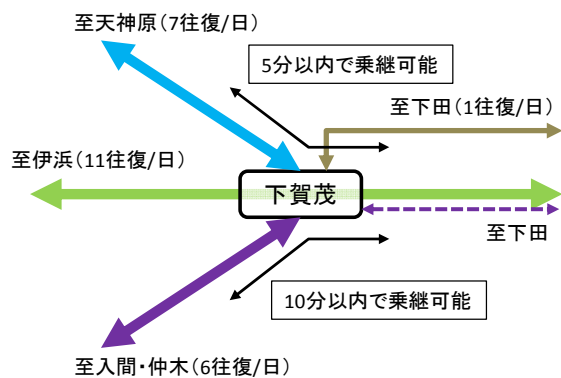
○バス同士の結節状況(堂ヶ島、松崎)



⑥南伊豆町<下賀茂>



○バス同士の結節状況



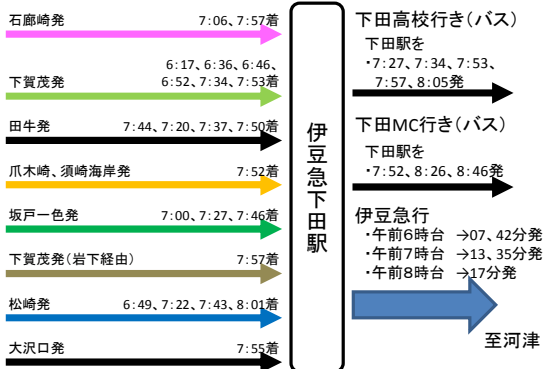
天神原線(図中水色)と下賀茂線(図中緑色)については、下賀茂バス停で常に5分以内で乗継ぎが可能となっており、便利な状況である。

入間・仲木線(図中紫色)と下賀茂線(図中緑色)については、下賀茂バス停で10分以内で乗継ぎが可能となっており、便利な状況である。

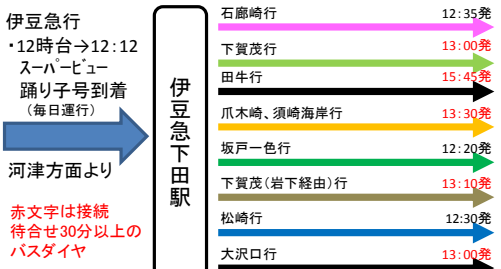
⑦下田市<下田駅>



○バス→鉄道の結節状況(朝時間帯)通勤・通学

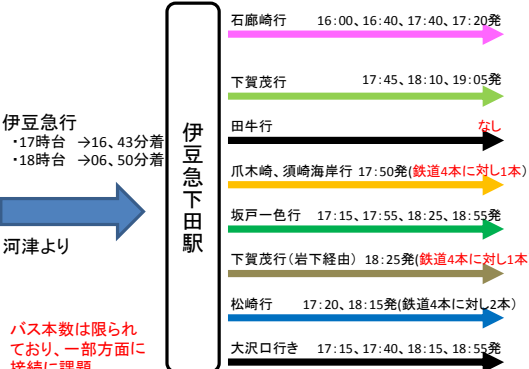


○鉄道→バスの結節状況(踊り子号)観光利用



・踊り子号からの接続について、石廊崎行、坂戸一色行、松崎行きについては接続されているが、接続が30分以上となるダイヤ(赤文字で表示)の路線が複数存在する。

○鉄道→バスの結節状況(夕方時間帯)通勤・通学



・到着する鉄道が2時間あたり概ね4本程度であることに比べ、1時間あたり1本程度のバス路線が存在している。これらは30分以内での接続が困難なダイヤあるいは接続できない路線(赤文字で表示)と言える

2 サービス提供範囲(高校通学、病院通院可能圏域)

(1) 高校への通学可能路線

当地域内の高校及び当地域外の主要高校(計8校)を対象として公共交通による通学可能圏域を調べた。当地域内のほとんどの市町から運行ダイヤ上は路線バスを利用して複数の高校へ通学が可能である。西海岸線の始発時間は早く運行頻度が比較的充実しており、西伊豆町の沿岸部においては、長時間の乗車や伊豆箱根鉄道への乗換えがあるものの、いずれの高校にも通学が可能となっている。(図31)で整理した通学が可能な高校と、高校生アンケート調査における実際の通学先(表11)を対照すると、(図31)の通学可能範囲内で通学している実態が確認できる。

下田市、伊豆市、南伊豆町の一部路線において、路線バス利用による通学が可能な高校が1校だけであり、高校の選択肢が限られている。沼津市戸田地区、伊豆市、下田市の一部路線には、路線バスによる通学ができない区間が存在する。

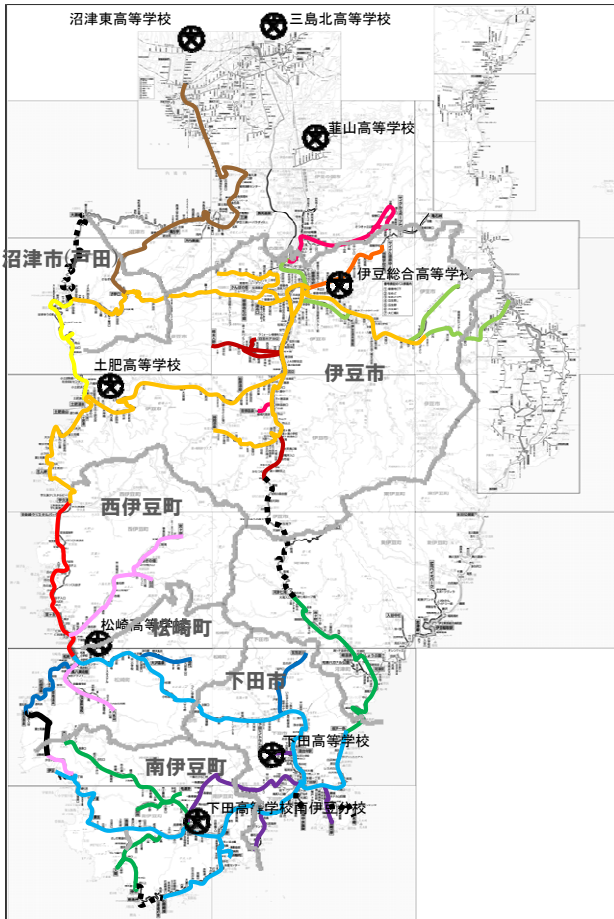
※通学可能エリア：高校の最寄バス停まで午前8時15分に到着可能なエリア(鉄道利用、乗継ぎ等も含む)

(2) 病院への通院可能路線

当地域内の第2次救急医療機関と、近接する伊豆今井浜病院や第3次救急医療機関である順天堂大学附属静岡病院について、公共交通による通院が可能な路線を調べた結果、概ねの市町からは複数の医療機関へ通院が可能であり、西伊豆町及び下田市の沿岸部は全ての病院に通院が可能である。

沼津市戸田地区の一部路線は、受付開始時間までに通院可能な病院がないという課題がある。

※通院可能エリア：病院最寄バス停に受付開始時間(午前8時30分)までに到着可能なエリア

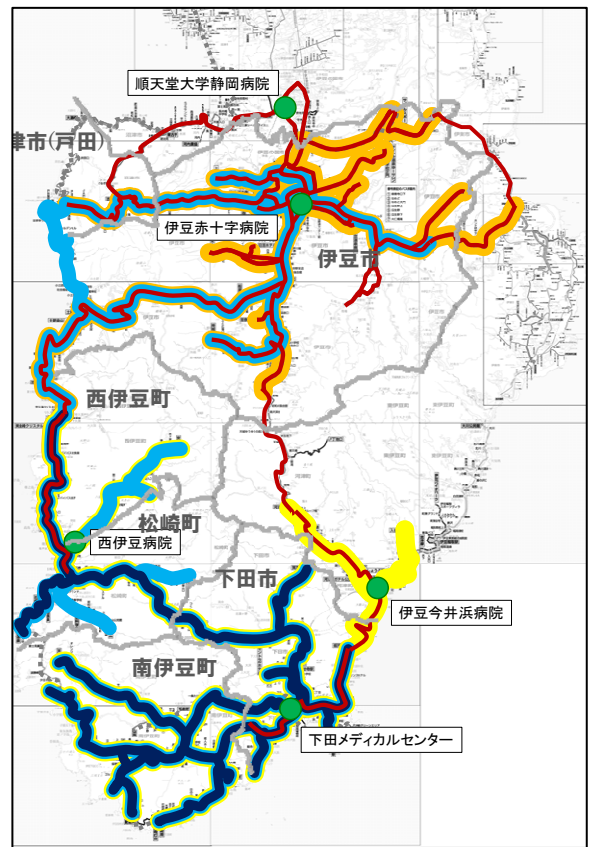


	沼津東 高校	三島北 高校	三島 高校	伊豆総 合高校	土肥 高校	松崎 高校	下田 高校	南伊豆 分校	対象市町
沼津市(戸田)	○	○	×	×	×	×	×	×	沼津市(戸田)
伊豆市	×	×	○	○	×	×	×	×	伊豆市
伊豆市	×	○	○	○	×	×	×	×	伊豆市
伊豆市	×	○	○	○	○	×	×	×	伊豆市、沼津市(戸田)、西伊豆町
伊豆市	×	×	×	○	○	×	×	×	伊豆市、沼津市(戸田)
伊豆市	×	×	×	○	×	×	×	×	伊豆市
西伊豆町、松崎町	○	○	○	○	○	○	○	○	西伊豆町、松崎町
下田市、松崎町、南伊豆町	×	×	×	×	×	×	×	×	下田市、松崎町、南伊豆町
下田市、松崎町	×	×	×	×	×	○	○	×	下田市、松崎町
松崎町、南伊豆町、西伊豆町	×	×	×	×	×	○	×	×	松崎町、南伊豆町、西伊豆町
下田市、南伊豆町	×	×	×	×	×	×	○	○	下田市、南伊豆町
下田市、南伊豆町	×	×	×	×	×	×	○	×	下田市、南伊豆町
南伊豆町	×	×	×	×	×	○	×	×	南伊豆町
沼津市(戸田)、下田市、南伊豆町	×	×	×	×	×	×	×	×	沼津市(戸田)、下田市、南伊豆町

図 33 高校への通学可能路線

当地域内で、送迎を実施している病院を右に示す。1次医療圏では、市町内を中心に、住民の送迎を実施している施設がある程度あり、通院の対応が図られているが、2次救急医療機関や3次救急医療機関への市町を越えた通院については、路線バスを利用した通院の確保が必要である。

参考：送迎を実施している病院



病院	凡例	通院可能市町
順天堂大学静岡病院	—	沼津市(戸田)、伊豆市、南伊豆町 下田市、西伊豆町、松崎町
下田メディカルセンター	—	下田市、松崎町、南伊豆町
西伊豆病院	—	沼津市(戸田)、伊豆市 松崎町
伊豆今井浜病院	—	下田市、西伊豆町、松崎町 南伊豆町
伊豆赤十字病院	—	沼津市(戸田)、伊豆市、西伊豆町、 松崎町

図 33 病院への通院可能路線

市町名	病院名	送迎範囲	送迎の形態	保有車種	保有台数
沼津市(戸田)	なし	—	—	—	—
下田市	下田メディカルセンター	下田MC~下田駅 ~須崎 下田MC~下田駅 ~稲梓	路線型	マイクロバス (伊豆バスへ委託)	1台
	佐倉医院	下田市、南伊豆町 (一部)	エリア型	普通車 (トヨタ ウィッシュ)	1台
下田市	しらはまクリニック	下田駅~しらはま クリニック、下田市	路線型・エ リア型	ワゴン車 (トヨタ アル ファード)	1台
	のぞみ記念 下田循環器・ 腎臓クリニック	賀茂郡内	エリア型	ワゴン車 (トヨタ ハイ エース)	4台
	上の山鏡目 クリニック	下田市内、南伊豆 町、河津町、東伊 豆町等	路線型(午 前中)・エ リア型	ワゴン車 (ニッサン セレナ)	2台
伊豆市	健育会西伊 豆健育会病 院附属土肥 クリニック	旧土肥町内 (地区毎に乗り場 が決まっている)	エリア型	バン	1台
南伊豆町	辰五ふ れあい南伊 豆ホスピタル	下田駅、松崎~西 伊豆(太田子)	路線型	マイクロバス ワゴン車	3台
松崎町	なし	—	—	—	—
	健育会西伊 豆病院	—	路線型 エリア型	マイクロバス ワゴン車	1台 1台
西伊豆町	田子診療所	田子地区のみ	エリア型	軽自動車	2台
	安良里診療 所	松崎から土肥の間	エリア型	軽自動車	1台
	藤井歯科	松崎から土肥の間	エリア型	普通車(6人 乗り)	1台



(2) 路線別収支見込

対象路線 142 系統のうち黒字が見込まれる系統は、わずか 18 系統（乗合路線 14 系統、市町自主運行バス 4 系統）であり、多数が赤字路線と見込まれている系統であり、利用者の減少による収入の減少や、運行経費が増加したことによるものと考えられる。赤字見込系統の中には、国、県等の助成を受け、路線の維持・確保を図っているもの（平成 27 年度においては、事業者による運行路線 9 系統、自主運行バス 41 系統）があるが、今後、助成が必要な路線が増加して行くものと見込まれる。国、県の財政状況が厳しい中、確実に必要となる路線を維持していくためには、単に助成をするだけでなく、乗車人員が少ない路線の廃止や、運行路線の効率化、又は新たな運行形態導入などを含めて見直しを進めていく必要がある。

対象路線全体の収支額は約 4 億円／年の赤字見込、収支率（収支均衡のとき 100%）は 63.6%（東海バス 72.1%、伊豆箱根バス 62.9%、市町自主運行バス 45.3%）と見込まれる。

(平成 27 年実績)

●民間事業者による運行路線

Table with columns: 事業者, 路線名, 系統, 運行区間, 運行本数(本/日), 収支額(千円/年), 収支率(%). Rows include 伊豆箱根バス and 東海バス routes.

Table with columns: 事業者, 路線名, 系統, 運行区間, 運行本数(本/日), 収支額(千円/年), 収支率(%). Rows include 西伊豆東海バス and 新東海バス routes.

Table with columns: 事業者, NO, 運行系統名, 運行区間, 運行本数(本/日), 収支額(千円/年), 収支率(%). Rows include 伊豆市内路線.

(平成 27 年 9 月現在)

●市町自主運行バス

Table with columns: 事業者, 路線名, 系統, 運行区間, 運行本数(本/日), 収支額(千円/年), 収支率(%). Rows include 西伊豆東海バス and 東海バス routes.

Table with columns: 事業者, 路線名, 系統, 運行区間, 運行本数(本/日), 収支額(千円/年), 収支率(%). Rows include 新東海バス routes.

(平成 27 年 9 月現在)

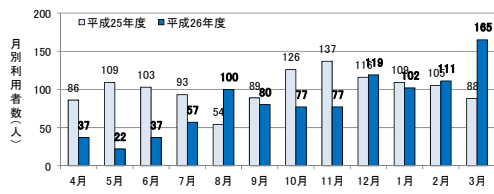


## 4 その他交通モードの状況

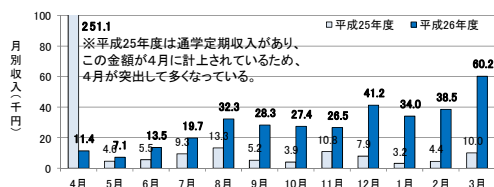
### (1) 地域内乗合交通の状況（沼津市戸田地区）

沼津市戸田地区におけるデマンドタクシーの利用者数は、平成25年度と比較すると平成26年度の上期は減少傾向にあったが下期は増加傾向であり、平成25年度は通学定期での利用が主であったが、沼津市で利用促進に取り組み、平成26年度は通学利用に加え、一般利用が増加した。これにより、運賃収入も増加している。

■ 月別利用者数 (H25、H26)



■ 月別収入 (H25、H26)



出典：運行情報等は沼津市HP、利用・収入実績は事業者提供データ



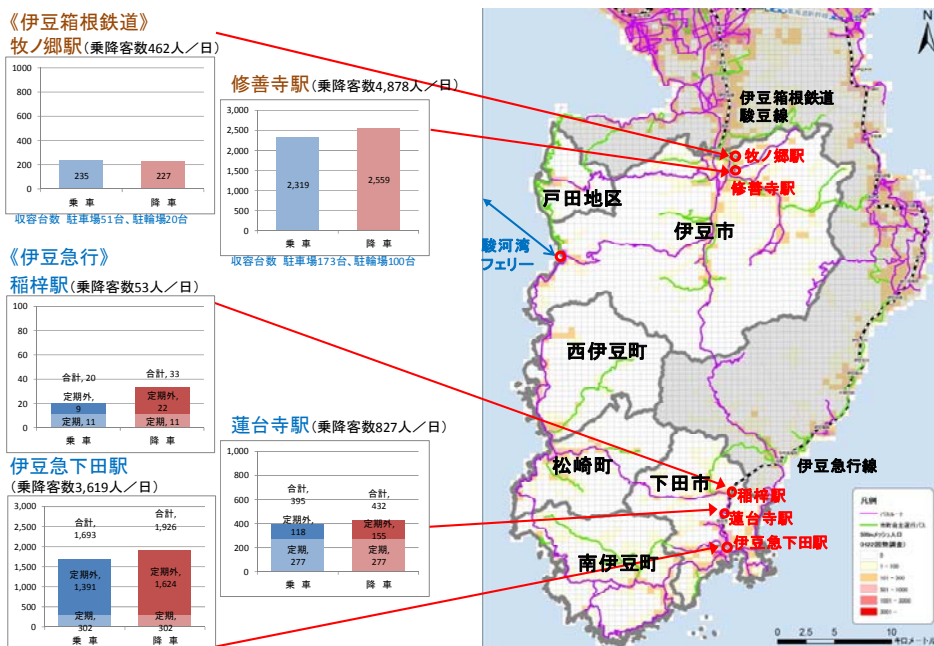
運行経路	運行時間	運賃
戸田 ⇄ 井田 (片道)	7:50 8:05 8:18 8:24 8:56 9:01	300円
戸田 ⇄ 江梨 (片道)	7:50 8:05 8:18 8:24 8:56 9:01	380円

365日、毎日運行

図 34 地域内乗合交通の状況（戸田）

### (2) 鉄道駅利用状況

鉄道は、伊豆急行線と伊豆箱根鉄道駿豆線が運行している。鉄道駅別の乗降客数は下図のとおりである。牧ノ郷駅を除く全駅で乗車に比べ降車が多い傾向にある。これは、鉄道を利用して訪れた観光客が、別の交通手段で移動したことによるものと推測される。



(出典：乗降客数：鉄道事業者調べ)

出典：国土数値情報（バス路線）、H22国勢調査（人口メッシュ）

図 35 鉄道駅利用状況(平成26年度1日あたり)

### (3) フェリーの利用状況

駿河湾フェリーの輸送人員は、平成25年度に一部運賃の割引制度を導入したことから、一時的に増加したものの、平成21年の1隻体制以降減少傾向にある。月別の利用は3月及び11月の旅客数が多い傾向にあるのは、観光シーズンの団体客を反映していると推測される。

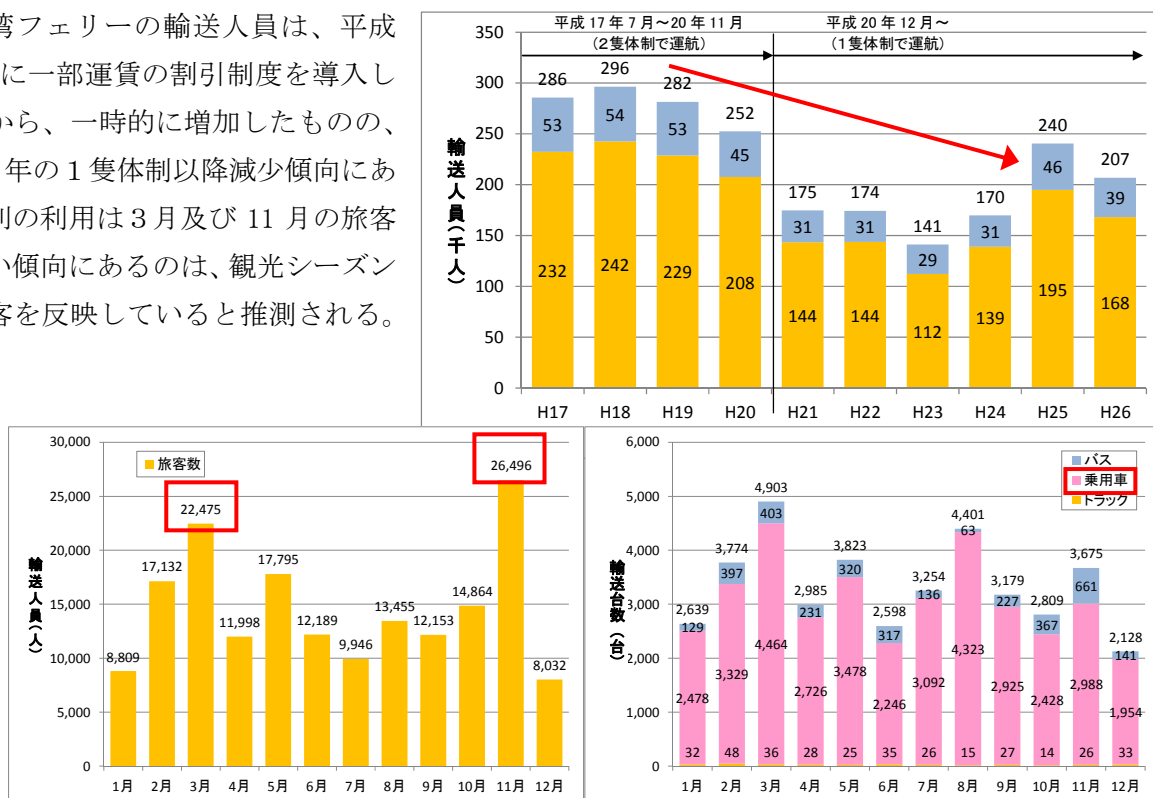


図 36 フェリーの利用状況

## 5 県の公共交通への支援

### (1) 鉄道

平成 26 年度、鉄道交通の安全運行を確保するため、鉄道事業者が計画的に実施する安全対策や老朽化施設の改良に対し支援している。 単位：千円

	区 分	事業費	補助額
	事業者名		
輸 送 対 策	伊豆急行	226,927	26,959
	伊豆箱根鉄道	—	—
	岳南電車	46,738	15,579
	静岡鉄道	280,358	35,000
	大井川鐵道	76,206	23,577
	遠州鐵道	—	—
	天竜浜名湖鐵道	259,784	72,931
	小計	890,013	174,046
総合 安全	伊豆東海岸鐵道整備(株)	245,000	73,500
	小計	245,000	73,500
緊急 耐震	天竜浜名湖鐵道	—	—
	伊豆急行	33,790	11,263
	小計	33,790	11,263
合 計		1,168,803	258,809

平成 26 年度、その他の鉄道支援については、下表のとおりである（当地域は補助額 0）

単位：千円

事業名	内 容	補助額
鉄道駅エバーサルデザイン施設整備事業費助成	障害者、高齢者等の移動等の円滑化を図るために、鉄道駅にエレベーター等の設置を行う事業者に補助する市町村に対して助成する。	36,000
天竜浜名湖鐵道中期経営計画支援事業費助成	天竜浜名湖鐵道中期経営計画の推進のため、天竜浜名湖鐵道に対して助成する。	105,700
鉄道沿線地域交流拡大事業費	天竜浜名湖鐵道の利用促進に取り組む天竜浜名湖線市町会議の事業費に対して助成する。	5,000

### (2) バス

県は平成 26 年度に事業者の広域幹線バスへの路線維持費と車両購入減価償却費補助（バス運行対策費助成）と過疎地域を運行するバス事業者に欠損補助する市町への補助（静岡県バス路線維持費助成）、市町自主運行バスの路線維持費、車両購入費補助（市町自主運行バス事業費助成）を下表のとおり行っている。

単位：千円

	沼津市	下田市	伊豆市	南伊豆町	松崎町	西伊豆町	計	全県
バス運行対策費助成	0	0	0	0	0	0	0	328,785
静岡県バス路線維持費助成	0	0	1,098	0	0	0	1,098	1,729
市町自主運行バス事業費助成	7,382	2,701	19,098	20,486	9,001	2,374	61,042	293,046

さらに、運輸事業の振興の助成に関する法律（平成 23 年 9 月 30 日施行）の規定に基づき、静岡県バス協会に運輸事業振興助成交付金を交付している（平成 26 年度の交付額は、50,232 千円）

## 6 市町のバス、タクシーへの支援

市町が平成 26 年度に市町自主運行バスの運行に要した経費は下表のとおりである。

単位：千円

	沼津市	下田市	伊豆市	南伊豆町	松崎町	西伊豆町	計
市町自主運行バス	17,668	6,756	49,333	64,358	25,225	8,838	172,178

市町における公共交通に関する支援制度の状況について下表に示す。

バス利用助成、高齢者免許返納制度など市町によって有する支援制度は異なる。また、伊豆市においては、バス利用助成制度が、70 歳以上のいきいきバスと 80 歳以上のバス利用料金助成事業と 2 種類の制度があり手厚い。今後も公共交通の利用実態に応じて、各市町が不断で検討していく必要がある。

表 19 市町による支援制度

	沼津市	下田市	伊豆市	南伊豆町	松崎町	西伊豆町
遠距離児童通学費補助	○	○	○	○	○	○
高校生バス通学補助	—	—	○ (距離制限有)	—	—	—
タクシー利用助成	○ ・重度障害者	○ ・重度心身障害者	○ ・重度心身障害者 ・80 歳以上	○ ・重度心身障害者	○ ・75 歳以上 高齢者、障害者	○ ・70 歳以上 重度障害者
バス利用助成	—	—	○ 【いきいきバス】 ・70 歳以上 (伊豆市内で使用可能)  【バス利用料金助成】 ・80 歳以上 (新東海バス、伊豆箱根バスエリア内で使用可能)	—	○ ・75 歳以上 高齢者 ・障害者	○ ・70 歳以上 ・重度障害者
高齢者免許返納制度	○	—	—	—	—	—
順天堂病院通院助成	—	○	○	○	—	—
下田メディカルセンター通院助成	—	—	—	○	—	—

●市町による利用者への補助制度

市町	分類	名称	補助対象者	制度概要	利用者数 (H26実績)	行政負担 (H26実績)
沼津市	通学	遠距離児童・生徒通学援助	下の児童においては3キロメートル以上の者、小学校4年生以上の児童及び中学校の生徒においては4キロメートル以上の者（隣接制度利用者等は含まれない。）	通学で使用するバスの定期券代を補助する。ただし、中学生で4km～6kmの生徒については、半額補助。	3人 (戸田地区分)	470千円
	通学	小中学校の統合等に伴う児童・生徒の通学援助	小中学校の統合等に伴い、市が指定する就学校又は通学場所に変更が生じた地域の児童・生徒	通学で使用するバスの定期券代を補助する。補助率は半額補助。	0人 (戸田地区は該当なし)	0千円
	事業者	バスの日、タクシーの日イベント負担金	沼津バス協会、沼津タクシー協会	バスの日、タクシーの日等において、広報啓発活動を実施する費用の一部を負担。	-	200千円
	高齢者	高齢者運転免許証自主返納支援事業	運転免許証を自主返納した65歳以上の市民	運転免許証自主返納高齢者を対象に、バス・タクシー利用券5,000円分を交付することにより、運転免許証の自主返納を促すとともに、公共交通への円滑な移行を図る。	-	2,900千円
	福祉	重度障害者タクシー利用料金助成	身障1・2級、療育A精神1・2級の障害者手帳所持者	在宅の重度障害者に対してタクシー利用料金の一部を助成することにより、その生活圏の拡大と社会参加の促進を図り、もって障害者の福祉の増進に寄与する。 ●助成額：小型車初乗り運賃額、24回分	36人	25千円
下田市	通学	下田市遠距離通学費補助金	住居から通常利用する通学路を経由して学校に至る距離が、児童にあつては4キロメートル、生徒にあつては6キロメートル以上で、旅客バス又は自転車を利用して通学している者	小学生は全額、中学生は1/2補助。中学生の自転車通学は、月1,000円補助。 ※例外：稲梓小-須原地区、朝日小-田牛地区、稲梓中-須原地区、下田東中-白浜地区、下田中-朝日地区は距離制限なし	159人	5,625千円
	福祉	重度心身障害者タクシー助成	障害者手帳1、2級・療育手帳A級該当者	初乗り以上の金額について、利用者が負担する。	73人	53千円
伊豆市	通学	小中学生通学補助事業	通学距離片道2キロ以上の児童生徒	通学距離片道2キロ以上の児童生徒に通学費を補助。また、自宅から最寄りの駅及びバス停が500以上離れている場合、500ごとに3,000円ずつ上乗せ（年間）。	942人	64,533千円
	通学	高校生バス通学補助事業	次の①～③のいずれにも該当する生徒又はその保護者 ①高等学校等に在籍する者及び新1年生 ②伊豆市に住所を有する者 ③中学校卒業後3年以内の者	高等学校等にバスを利用して通学する生徒の保護者の負担軽減とバス路線の利用促進を図ることを目的に、通学にバスを利用する高校生の通学定期券購入費用の補助を実施。 通学定期券の購入費用から片道200円の通学定期代相当額を差し引いた額の3分の2（100円未満の端数切り捨て）	149人	9,927千円

市町	分類	名称	補助対象者	制度概要	利用者数 (H26実績)	行政負担 (H26実績)
伊豆市	福祉	福祉タクシー・バス利用料金助成事業	4月1日現在、満80歳以上の在宅で生活している方 ※病院、施設等へ入所している方は除く	生活範囲の拡大と社会参加の促進を図るため、タクシー（福祉タクシーを含む）及びバスの利用料金の助成を行います。※いきいきバスとの併用不可。 ●助成額 12,000円分（100円券×120枚）	不明	17,908千円
		重度心身障害者タクシー助成	身障1・2級、療育A・B、精神1・2級の障害者手帳所持者	タクシー等料金を助成することにより、交通弱者である障害者の福祉の増進を図るとともに、社会参加の促進を図る。 ●助成額 12,000円分（100円券×120枚）	不明	4,013千円
		いきいきバス	伊豆市在住で平成27年4月1日現在70歳以上の方（昭和20年4月1日までに生まれた方）。	「いきいきバス」を乗務員に提示すると、現金100円で乗車が可能。※福祉タクシー・バス利用料金助成との併用不可。 <販売価格> ●3か月券 5,000円 ●6ヶ月券 9,000円 ●1年券 13,500円	206人	2,949千円
南伊豆町	通学	定期券補助	小学生、中学生	利用者負担なし	585人	17,695千円
		波勝崎無償運送委託	小学生3人が対象。	利用者負担なし	5人	458千円
	通院	下田メディカルセンター通院バス利用料金助成	特になし	バス路線を利用して通院に要した経費が対象。助成額は、1通院に要したバス料金（以下「バス料金」という。）の半額とする。ただし、バス料金が2,000円を超えた場合は、バス料金から1,000円を差引いた金額を助成する。	118人	184千円
	福祉	タクシー初乗り助成	障害者手帳1・2級・療育手帳A級該当者	初乗り以上の金額について、利用者が負担する。	11人	75千円
松崎町	通学	小中学校通学補助	通学距離2kmを基準とし、原則としてバス通学、自家用車利用通学及び自転車通学生徒を対象	【中学校】 ・バス通学者（定期券購入者） 通学定期代－2kmまでの定期券代＝補助額 ・自家用車利用通学者 往復とも自家用車利用・・・ バス通学補助額の1/2 片道だけ自家用車利用（回数券購入者）・・・バス通学補助額の3/4 ・自転車通学者 1ヶ月 1,000円 【小学校】 ・バス通学者（定期券）に対し、全額補助。	118人	6,567千円
	福祉	福祉タクシー利用券・寿回数券	購入する時は、住所、氏名、年齢が確認できる公的機関が発行する身分証明書（後期高齢者医療被保険者証や介護保険被保険者証等）を提示	高齢者や障害を抱える方が外出する機会を増やしていただくことを目的に福祉タクシー利用券又は株式会社西伊豆東海バスの寿回数券を交付  （利用者負担：500円、町負担500円、東海バス負担300円（寿回数券印刷代と販売経費は東海バスが負担））	569人	1,971千円

市町	分類	名称	補助対象者	制度概要	利用者数 (H26実績)	行政負担 (H26実績)
西伊豆町	通学	西伊豆町遠距離幼児、児童及び生徒通学補助	幼稚園にあつては大沢里地区の幼児に係る通園費とし、小学校にあつては大沢里及び安良里地区の児童に係る通学費とし、中学校にあつては大沢里、浮島、田子及び安良里地区の生徒に係る通学費	補助率は全額補助 遠距離から交通機関を利用し通園、通学する幼児、児童、生徒に対し父兄の負担の軽減を図りもって義務教育の円滑な運営に資する。	82人	11,371千円
	福祉	西伊豆町高齢者交通費助成	町内に居住し、本町の住民基本台帳に登録されている70歳以上の者	申請者に乗車券を交付 高齢者に町内を運行する定期路線乗合バス又はタクシーの交通費を助成し、外出の機会を容易にし、生活圏の拡大と社会参加の促進を図ることによって、老人福祉の増進に寄与する	2,035人	4,201千円
		西伊豆町重度障害者交通費等助成	助成を受けようとする年度の4月1日現在において、町内に居住し、本町の住民基本台帳に登録されている者のうち、第2条第1項に該当する障害者	タクシーの利用料金又は町内を運行する定期路線乗合バス利用料金若しくは町内の給油取扱所を利用した場合における料金の一部を助成 生活圏の拡大と社会参加の促進を図りもって障害者の福祉の増進に寄与する	259人	3,953千円
2市3町	通院	順天堂病院通院助成	(下田市、伊豆市、東伊豆町、河津町、南伊豆町)	利用者負担有	4,144人	3,953千円
( 合 計 )					9,494人	155,631千円

### ●市町による利用促進策

市町名	分類	名称	対象者	概要
下田市	—	広報誌等への記載	市民全員	・下田市地域公共交通網形成計画に基づき、地域との協働による利用促進策の検討を行うとともに、市の広報誌への利用促進記事掲載や公共交通に関する特集記事などを通じ、市民へ周知・利用促進を図る。
伊豆市	—	21時台の最終バスの運行	—	・平成26年度より、修善寺駅発の21時台のバス運行を開始。
	—	時刻表配布	市民全員	・時刻表の全戸配布を実施。
	—	広報	市民全員	・補助事業やその他上記利用促進策について、市広報紙、HP、コミュニティFMでのPR等、広報を積極的に実施。

その他交通事業者による補助制度等を以下に示す。

### ●交通事業者による利用者への補助制度

事業者名	分類	名称	補助対象者	申請方法等	制度概要
沼津登山東海バス	高齢者	楽々バス(沼津登山東海バス)	65歳以上の高齢者	沼津登山東海バス案内所(沼津駅前・三島駅前・内浦漁協)で購入。 身分証明書、顔写真が必要。	「楽々バス」を乗務員に提示すると、沼津登山東海バスの全路線が、現金100円で乗車が可能。 <販売価格> ●3か月券 7,000円 ●6か月券 12,000円 ●1年券 20,000円

●交通事業者による利用促進策

事業者名	内容
伊豆箱根バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>•利用者の多様な利用実態に即し、平日型通学定期券・片道通学定期券を発売。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>•バス通学を促進するため、通常の定期券より割引率を高めた特割通学定期券を発売。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>•伊豆市の保育園の年長児を対象に、バスの乗り方教室を毎年開催。 会場にバスを持ち込み、バスの乗降方法や車内マナーの他、所轄の大仁警察署の協力も得て、バスの死角について学習する交通安全講習を行い、バスに興味を持ってもらうと同時に利用促進に努めている</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>•伊豆箱根ふれあいフェスタ 電車・バス・タクシー等の公共交通や、会社のグループ事業を紹介するためのグループイベント。公共の乗り物を身近に感じてもらい、利用促進に努めている。当社敷地内を一般開放し、近隣施設・交通事業者等の協力を得て実施。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>•バスの乗り方教室(学生、高齢者) 【学生】バスの乗車⇒降車までの流れを説明し、一人でも安心してバスに乗車できるように講習を行う。 【高齢者】車内事故防止のため、安全なバスの乗り方について講習を実施</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>•「車内転倒事故防止」のポスターや、「ドアが開いてから席をお立ちください」のステッカーなどで、年配者に安心した利用を、また、それ以外の安全運行への理解と協力を呼びかけている。</li> <li>•伊豆市の協力のもと、年に1回バス路線沿線の全自治会に回覧板で時刻表を配布。</li> </ul>
東海自動車	<ul style="list-style-type: none"> <li>•時刻表及び路線図の全戸配布 新聞折込、回覧板等を通じて、時刻表及び路線図の配布を実施。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>•時刻検索システムへの掲出 駅すばあと、yahoo等の時刻検索システムへの掲出を実施。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>•バスの乗り方教室の実施 幼稚園児、小学生だけでなく、高齢者を対象としたバスの乗り方教室を実施。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>•定期券の通信販売の実施</li> </ul>



## 7 フリーパス、観光セット券等

伊豆半島では、公共交通利用促進のためのフリーパス、観光セット券が下表のように多数ある。これらは種類が多く、利用可能エリア、利用可能交通事業者が多様であるため、利用者にとって分かりづらい懸念がある。



表 20 フリーパス、観光セット券

種別	名称	金額		利用可能期間	利用可能エリア							利用可能交通事業者					
		大人	子供		沼津市	下田市	伊豆市	南伊豆町	松崎町	西伊豆町	その他	東海バス	伊豆箱根バス	伊豆急行	伊豆箱根鉄道	駿河湾フェリー	その他
フリーパス	南伊豆フリーパス	2,790	1,400	2日		○		○	○	○		○					
	天城路フリーパス	1,900	950	2日			○				○	○					
	みしまるきっぷ	900	450	1日							○	○					
	伊東観光フリーパス	1,300	650	1日							○	○					
	伊豆高原、城ヶ崎バスフリーきっぷ	800	400	1日							○	○					
	熱海満喫乗車券	500	300	1日							○		○				
	絶景富士山乗車券	1,200	600	1日							○		○				○
	箱根旅助け	3,000	1,500	2日							○		○				○
	箱根バスフリー(1日)	1,700	850	1日							○		○				
	箱根バスフリー(2日)	2,000	1,000	2日							○		○				
	旅助け(駿豆線一日乗り放題)	1,020	520	1日			○				○			○			
	Izuhakone Line One-day Pass(RAIL&BUS)	1,000	500	1日			○				○			○			
	JR東日本「びゅう」 ※JR+宿泊	※	※	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	南伊豆フリー乗車券	6,160	3,080	2日		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	伊豆満喫フリーきっぷ(～28.1.31)	1,700	850	1日		○					○		○				
	富士山満喫きっぷ	3,070	1,530	1日			○				○				○		○
	伊豆ドリームバス(黄金路)	3,700	1,860	3日		○	○		○	○	○		○		○		○
	伊豆ドリームバス(山葵路)	3,900	1,960	3日			○				○	○		○			○
伊豆ドリームバス(富士見路)	2,800	1,420	2日			○				○	○		○			○	
観光セット券	得トクバスバック(長八美術館)	790	-	-					○			○					
	得トクバスバック(クリスタルパーク)	3,830	1,920	-			○			○		○					
	得トクバスバック(クリスタルパーク)	4,350	2,190	-			○			○		○					
	得トクバスバック(土肥金山)	3,160	1,590	-			○					○					
	得トクバスバック(土肥金山)	4,380	2,210	-			○			○		○					
	得トクバスバック(下田海中水族館)	2,000	1,000	-		○						○					
	得トクバスバック(蓮台寺温泉)	1,400	700	-		○						○					
	得トクバスバック(南伊豆とれたて浜焼き)	1,500	900	-		○		○				○					
	得トクバスバック(石廊崎満喫)	2,860	1,440	-		○		○				○					
	得トクバスバック(修善寺虹の郷)	1,610	810	-			○					○					
	得トクバスバック(サイクルスポーツ)	1,600	970	-			○					○					
	得トクバスバック(あわしまマリンパーク)	2,130	1,070	-	○							○					
	得トクバスバック(三津シーパラダイス)	2,730	1,320	-	○							○					
	得トクバスバック(西浦みかん狩り)	2,100	1,200	-	○							○					
	得トクバスバック(沼津港満喫)	400	200	-	○							○					
	伊豆長岡温泉 湯ったりきっぷ	1,000	-	1日							○		○		○		
	修善寺虹の郷セット券	1,770	880	-			○				○		○		○		
	伊豆・三津シーパラダイスセット券	2,280	1,130	-	○						○		○		○		
	下田海中水族館割引観光セット券	3,060	1,530	2日		○					○		○		○		
	伊豆シャボテン公園観光セット乗車券	3,010	1,470	2日		○					○		○		○		
伊豆熱川バナナワニ園観光セット乗車券	2,220	1,070	2日		○					○		○		○			
伊豆アニマルキングダム観光セット乗車券	2,940	1,470	2日		○					○		○		○			
その他	フェリーバスセット券(松崎)	3,060	1,540	1日			○		○	○	○					○	
	フェリーバスセット券(堂ヶ島)	2,940	1,480	1日			○			○	○					○	
	フェリーバスセット券(黄金崎)	2,600	1,310	1日			○			○	○					○	
	ぶらっと伊豆高原割引往復乗車券	940	470	1日							○		○				
	いずたく切符	2割引	2割引	伊豆急1日 タクシー4日		○					○		○		○		